

データ入力仕様書

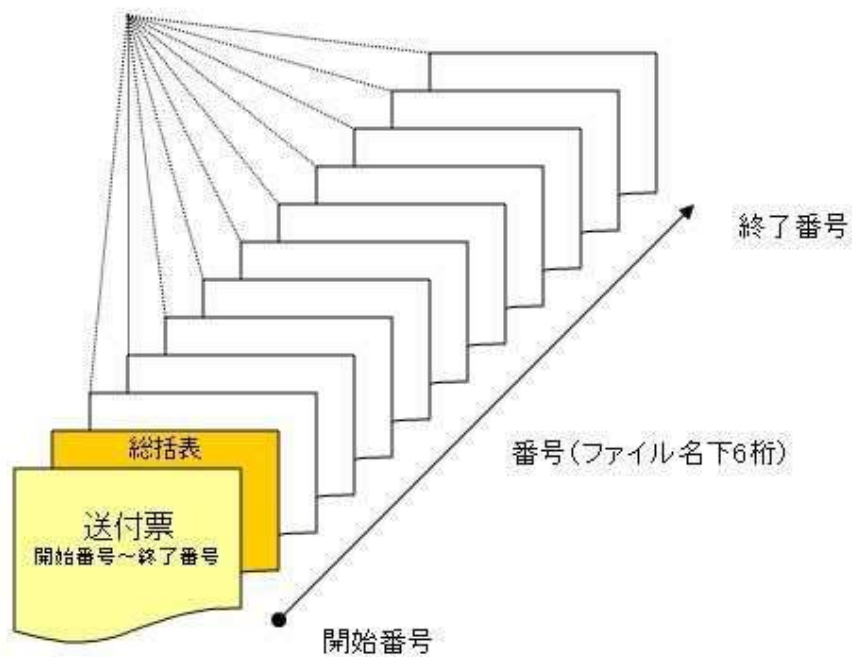
(公的年金等支払報告書)

・ 年金支払報告書のイメージファイルについて

年金支払報告書のイメージデータは、1つのフォルダに下記3種類の帳票で構成する。

- ・ 送付票（1フォルダに1件のみ、必ず先頭）
- ・ 総括表（1フォルダに1件のみ、必ず2番目）
- ・ 年金支払報告書（個人別明細書）※総括表の後に1件以上続く

個人別明細書



入力データは、次の2種類のレコードにて構成する。

- ・ 総括表レコード：送付票に記載される情報と、総括表に記載されている情報を入力する
- ・ 個人別明細書レコード：送付票に記載される情報と、年金支払報告書に記載されている情報を入力する

・ 単票形式とリスト形式について

公的年金等支払報告書は、単票形式とリスト形式との2種類が存在する。単票形式もリスト形式も資料区分は「31」であり、データ入力のレコードレイアウトも同じである。リスト形式のイメージデータには、1帳票あたり1件から4件分の情報が記載されているが、そのうち氏名欄等が太枠で囲まれた1件のみをデータ入力する。単票形式もリスト形式も1イメージデータで1レコードのデータ入力を行う。

《単票形式》

公的年金等支払報告書(個人別明細書)

										※編 別		※世帯番号		※	
										個人番号					
支払を受ける者										住所					
										(フリガナ)					
氏名										生年月日		明治 大正 昭和 平成 令和		年 月 日	
区分										支 払 金 額		源 泉 徴 収		税 額	
所得税法第203条の3第1号・第4号適用分															
所得税法第203条の3第2号・第5号適用分															
所得税法第203条の3第3号・第6号適用分															
所得税法第203条の3第7号適用分															
本 人										控除対象扶養親族の数		障害者の数		社会保険料の額	
特別障害者										特定 老人		特別 老人		障害者数 (本人以外) 特別	
その他の障害者										その他		その他		障害者数 (本人以外) 特別	
ひとり親 寡婦										有 無		有 無		有 無	
源泉控除対象配偶者										控除対象扶養親族		16歳未満の扶養親族			
氏名										氏名		氏名		氏名	
個人番号										個人番号		個人番号		個人番号	
(簡要)										氏名		氏名		氏名	
										個人番号		個人番号		個人番号	
支 払 者										法人番号		所在地		名称	

第十七号の二様式別表(用紙日本産業規格A6)(第十條関係)

《リスト形式》

公的年金等支払報告年別内訳一覧表

管轄事務所 3900

市区町村コード 131

令和 年 月 日 頁

対象年 9 年	氏名	生年月日	住所	障害者数 0	扶養親族 16歳未満 0
※個人番号	※源泉控除対象配偶者	※ひとり親	※寡婦	※源泉控除対象配偶者	※控除対象扶養親族
※配属者の合計所得	※特別障害者	※その他障害者	※ひとり親	※寡婦	※源泉控除対象配偶者

対象年 9 年	氏名	生年月日	住所	障害者数 0	扶養親族 16歳未満 0
※個人番号	※源泉控除対象配偶者	※ひとり親	※寡婦	※源泉控除対象配偶者	※控除対象扶養親族
※配属者の合計所得	※特別障害者	※その他障害者	※ひとり親	※寡婦	※源泉控除対象配偶者

対象年 7 年	氏名	生年月日	住所	障害者数 0	扶養親族 16歳未満 0
※個人番号	※源泉控除対象配偶者	※ひとり親	※寡婦	※源泉控除対象配偶者	※控除対象扶養親族
※配属者の合計所得	※特別障害者	※その他障害者	※ひとり親	※寡婦	※源泉控除対象配偶者

※太枠で囲まれた行のデータを入力する

公的年金支払報告書（総括表）データ入力ファイル仕様書	作成修正日	版
	2017/07/01	1.0

ファイル名	年報DATA
レコード名	年報総括表
文字コード	SJIS
レコード長	1200Byte

項番	データ名	属性	桁数	開始	終了	説明	備考
1	市区町村CD	数字	6	1	6	「統計に用いる都道府県等の区域を示す標準コード（昭和45年行政管理庁告示第44号）」の該当コードを記録する。	固定「221309」を記録する。
2	送付票 年度	数字	4	7	10	送付票の「年度」、「簿冊番号」、「入力回」、「開始番号」、「終了番号」、「資料区分」を各項目に右詰（前ゼロ）で記録する。	
3	送付票 簿冊番号	数字	5	11	15		
4	送付票 入力回	数字	5	16	20		
5	送付票 開始	数字	6	21	26		
6	送付票 終了	数字	6	27	32		
7	送付票 資料区分	半角	2	33	34		
8	レコード区分	半角	1	35	35		
9	資料番号 年度	数字	4	36	39	イメージデータのファイル名（20桁、拡張子を除く）を記録する。	
10	資料番号 簿冊番号	数字	5	40	44		
11	資料番号 入力回	数字	5	45	49		
12	資料番号 番号	数字	6	50	55		
13	分冊区分	数字	1	56	56	固定「0（ゼロ）」を記録する。	
14	受付年月日 年号	数字	1	57	57	空白を記録する。	
15	受付年月日 年	数字	2	58	59	同上	
16	受付年月日 月	数字	2	60	61	同上	
17	受付年月日 日	数字	2	62	63	同上	
18	指定番号	数字	12	64	75	指定番号を右詰（前ゼロ）で記録する。	「000003762570」または「009500178776」を記録する。
19	受給者総人員	数字	8	76	83	右詰（前ゼロ）で記録する。	固定「00000000」を記録する。
20	市区町村数	数字	8	84	91	同上	同上
21	報告人員 在職	数字	8	92	99	同上	同上
22	報告人員 退職	数字	8	100	107	同上	同上
23	報告人員 その他	数字	8	108	115	同上	同上
24	報告人員 合計	数字	8	116	123	同上	同上
25	余白	半角	1077	124	1200	空白を記録する。	

公的年金支払報告書（個人別明細書）データ入力ファイル仕様書	作成修正日	版
	2017/07/01	1.0

ファイル名	年報DATA
レコード名	年報個人別明細書
文字コード	SJIS
レコード長	1200Byte

項番	データ名	属性	桁数	開始	終了	説明	備考
1	市区町村CD	数字	6	1	6	「統計に用いる都道府県等の区域を示す標準コード（昭和45年行政管理庁告示第44号）」の該当コードを記録する。	固定「221309」を記録する。
2	送付票_年度	数字	4	7	10	送付票の「年度」、「簿冊番号」、「入力回」、「開始番号」、「終了番号」、「資料区分」を各項目に右詰（前ゼロ）で記録する。	
3	送付票_簿冊番号	数字	5	11	15		
4	送付票_入力回	数字	5	16	20		
5	送付票_開始	数字	6	21	26		
6	送付票_終了	数字	6	27	32		
7	送付票_資料区分	半角	2	33	34		
8	レコード区分	半角	1	35	35	固定「2」を記録する。	
9	資料番号_年度	数字	4	36	39	イメージデータのファイル名（20桁、拡張子を除く）を記録する。	
10	資料番号_簿冊番号	数字	5	40	44		
11	資料番号_入力回	数字	5	45	49		
12	資料番号_番号	数字	6	50	55		
13	余白1	半角	8	56	63	空白を記録する。	
14	指定番号	数字	12	64	75	総括レコードの「指定番号」と同一の内容を記録する。	「000003762570」または「009500178776」を記録する。
15	カナ氏名	半角 カナ	50	76	125	支払いを受ける者のカナ氏名を左詰で記録する。	
16	生年月日_年号	数字	1	126	126	明治は「1」、大正は「2」、昭和は「3」、平成は「4」、令和は「5」、その他は「9」を記録する。	
17	生年月日_年	数字	2	127	128	2けたを使用し、1けたの場合は右詰（前ゼロ）で記録する。	
18	生年月日_月	数字	2	129	130	同上	
19	生年月日_日	数字	2	131	132	同上	
20	支払金額1	数字	12	133	144	書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
21	支払金額2	数字	12	145	156	同上	
22	支払金額3	数字	12	157	168	同上	
23	支払金額4	数字	12	169	180	同上	
24	本人特別障害者	半角	1	181	181	該当する場合には「1」、それ以外の場合には「0」を記録する。	
25	本人普通障害者	半角	1	182	182	同上	
26	本人ひとり親	半角	1	183	183	該当する場合には「1」を記録する。	
27	本人寡婦	半角	1	184	184	同上	
28	本人老年者	半角	1	185	185	空白を記録する。	
29	控配_有	半角	1	186	186	源泉控除対象配偶者を有する場合には「1」、それ以外の場合には空白とし、書面による場合の記載に準じて記録する。	
30	控配_無	半角	1	187	187	同上	
31	控配_老配有	半角	1	188	188	控除対象配偶者を有する場合には「1」、それ以外の場合には空白とし、書面による場合の記載に準じて記録する。	
32	扶養_特別扶養人数	数字	2	189	190	控除対象扶養親族の数を特定、老人、その他の区分に応じ、書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
33	扶養_老人扶養人数	数字	2	191	192		
34	扶養_普通扶養人数	数字	2	193	194		
35	障害_同居特障	数字	2	195	196	同居特別障害者の数を書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	「特別」の欄に記載される内書内容を記録する。
36	障害_特別障害人数	数字	2	197	198	同一生計配偶者が該当する場合は算入す 障害者の数を特別、その他の区分に応じ、書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
37	障害_普通障害人数	数字	2	199	200	同一生計配偶者が障害者に該当する場合は算入する。	
38	社会保険料	数字	9	201	209	書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
39	宛名番号	数字	15	210	224	空白を記録する。	
40	源泉徴収税額1	数字	12	225	236	空白を記録する。	
41	源泉徴収税額2	数字	12	237	248	空白を記録する。	
42	源泉徴収税額3	数字	12	249	260	空白を記録する。	

項番	データ名	属性	桁数	開始	終了	説明	備考
43	源泉徴収税額4	数字	12	261	272	空白を記録する。	
44	扶養_年少扶養人数	数字	2	273	274	16歳未満の扶養親族の数を、書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
45	個人番号	数字	12	275	286	右詰（前ゼロ）で記録する。	
46	控除対象配偶者_カナ氏名	半角 カナ	60	287	346	空白を記録する。	
47	控除対象配偶者_個人番号	数字	12	347	358	右詰（前ゼロ）で記録する。	
48	扶養1_カナ氏名	半角 カナ	60	359	418	空白を記録する。	
49	扶養1_個人番号	数字	12	419	430	右詰（前ゼロ）で記録する。	
50	扶養2_カナ氏名	半角 カナ	60	431	490	空白を記録する。	
51	扶養2_個人番号	数字	12	491	502	右詰（前ゼロ）で記録する。	
52	年少扶養1_カナ氏名	半角 カナ	60	503	562	空白を記録する。	
53	年少扶養1_個人番号	数字	12	563	574	右詰（前ゼロ）で記録する。	
54	年少扶養2_カナ氏名	半角 カナ	60	575	634	空白を記録する。	
55	年少扶養2_個人番号	数字	12	635	646	右詰（前ゼロ）で記録する。	
56	摘要	全角	200	647	846	空白を記録する。	
57	配偶者の合計所得	数字	12	847	858	書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
58	配偶者の合計所得_48万円以下	半角	1	859	859	該当する場合には「1」、それ以外の場合には「0」を記録する。	
59	漢字住所	半角	200	860	1059	空白を記録する。（電子データに保持している項目「受給者_住所又は居所」を移送、保持するための項目。）	
60	余白3	半角	141	1060	1200	空白を記録する。	

・ データ送付票（公的年金等支払報告書用）項番対応図

浜松市市民税課
Tel (053) 457-2162

データ送付票 公的年金等支払報告書

年度 2022 2	簿冊番号 00031 3	入力回 00 4	開始番号 ~	終了番号 6
資料区分 3 1 7	指定番号 0003762570 18 総括表 14 個人別明細書	指定番号 9500178776	資料枚数 枚	
連絡事項				

・ 公的年金等支払報告書（総括表）項番対応図

公的年金等支払報告書（総括表）

第十七号の二様式（用紙日本工業規格A6）（第十条関係）

資料番号はファイル名を入力する 「20220031*****」	種別	整理番号	
	※	「18」 (固定値)	※
令和 年 月 日提出			
公的年金等支払者の法人番号 フリガナ		受給者 総人員	人
公的年金等支払者の名称		報告人員	人
所得税の源泉徴収をしている事務所 又は事業の名称 フリガナ		所属 税務署名	税務署
公的年金等支払者が法人である場合の代表者の氏名		公的年金等の支払方法及びその期日	
連絡者の氏名、所属課、係名及び電話番号	氏名	課	係
	(電話))

・データ入力指示書（公的年金等支払報告書：総括表）

項番	名 称	詳 細
18 14	指定番号	<p>『支払者』を確認し、いずれかの指定番号を入力する</p> <p>● 「0003762570」を入力する <単票> ・ 国家公務員共済組合連合会 ・ 地方職員共済組合 ・ 地方職員共済組合団体共済部 ・ 東京都職員共済組合 ・ 公立学校共済組合 ・ 警察共済組合 ・ 日本私立学校振興・共済事業団 ・ 厚生労働大臣（農林） ・ 全国市町村共済組合連合会 ・ 厚生労働大臣</p> <p><リスト> すべて</p> <p>● 「9500178776」を入力する <単票> 上記以外の支払者すべて</p>

・データ入力指示書（公的年金等支払報告書：個人別明細書）

項番	名称	詳細																																
9 10 11 12	資料番号	イメージデータのファイル名（拡張子を除く20桁）を入力する																																
16 17 18 19	生年月日	リスト形式の公的年金等支払報告書では、生年月日の元号が単票形式とは異なるコードで記載されているため注意する（明治:1 大正:3 昭和:5 平成:7 令和:9） 例 5 11 3 16 → 3110316 で入力 例 3 7 10 9 → 2071009 で入力																																
20 21 22 23	支払金額1 支払金額2 支払金額3 支払金額4	支払金額欄が1つしかない場合（支払金額が1～4に分かれていない場合）は、支払金額1に入力する																																
26	ひとり親	旧様式などで摘要欄に特別寡婦と記載があり丸囲みしてある場合も入力する 旧様式を使用し「特別寡婦」欄に「*」がある場合、もしくは摘要欄に特別寡婦と記載がある場合も入力する																																
27	寡婦	旧様式などで摘要欄に寡婦または寡夫と記載があり丸囲みしてある場合も入力する 旧様式を使用し「寡婦寡夫」欄に「*」がある場合、もしくは摘要欄に寡婦または寡夫と記載がある場合は、入力せずに疑義へ																																
29 31	控配_有 控配_老配有	源泉控除対象配偶者の一般・老人は以下のように入力する <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">一 般</td> <td style="text-align: center;">老 人</td> <td style="text-align: center;">一 般</td> <td style="text-align: center;">老 人</td> <td style="text-align: center;">一 般</td> <td style="text-align: center;">老 人</td> <td style="text-align: center;">一 般</td> <td style="text-align: center;">老 人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p>29控配_有 1 未入力 未入力 1</p> <p>31控配_老配有 未入力 1 未入力 1</p> <p style="text-align: right;">（データ入力連絡表に記載）</p> 旧様式などで控除対象配偶者の有・無がある場合は以下のように入力する <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">有</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td style="text-align: center;">有</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td style="text-align: center;">有</td> <td style="text-align: center;">無</td> <td style="text-align: center;">有</td> <td style="text-align: center;">無</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </table> <p>29控配_有 1 未入力 未入力 1</p> <p style="text-align: right;">（データ入力連絡表に記載）</p>	一 般	老 人	一 般	老 人	一 般	老 人	一 般	老 人	○			○			○	○	有	無	有	無	有	無	有	無	○			○			○	○
一 般	老 人	一 般	老 人	一 般	老 人	一 般	老 人																											
○			○			○	○																											
有	無	有	無	有	無	有	無																											
○			○			○	○																											
35	同居特別障害数	特別障害者の数に内書がある場合に入力する <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2">障害者の数</th> </tr> <tr> <th>特別</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内 1</td> <td style="text-align: center;">人 1</td> </tr> </table> 旧様式などで特別障害者の数に（ ）括弧書きがある場合も入力する <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="2">障害者の数</th> </tr> <tr> <th>特別 (うち同居)</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1 人 (内 1 人)</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> </table> 旧様式などで摘要欄に項目名と人数を丸囲みしてある場合も入力する	障害者の数		特別	その他	内 1	人 1	障害者の数		特別 (うち同居)	その他	1 人 (内 1 人)	人																				
障害者の数																																		
特別	その他																																	
内 1	人 1																																	
障害者の数																																		
特別 (うち同居)	その他																																	
1 人 (内 1 人)	人																																	
44	年少扶養	旧様式などで摘要欄に項目名と人数を丸囲みしてある場合も入力する																																
45	個人番号	リスト形式の公的年金等支払報告書では、氏名の下のカッコ書き内の数字を入力する																																
57	配偶者の合計所得	配偶者の合計所得金額を入力する																																
58	配偶者の合計所得 _48万円以下	“*”（アスタリスク）、“○”（マル）、“★”（ホシ）、“※”（コメジルシ）など、記載があった場合は「1」を入力する。何も記載されていない場合は、「0」（ゼロ）を入力する。																																
	その他	様式が通常とは異なるものの場合、入力する際に項目名を確認して入力する																																

・ 公的年金支払報告書（単票形式） 様式参考例

平成 年分 公的年金等支払報告書												
支払者	住所又											
	氏名	生年月日		1 明治	2 大正	3 昭和	4 平成	年	月	日		
区 分				支 払 金 額				源 泉 徴 収 税 額				
法第203条の3第1号適用分				円				円				
法第203条の3第2号適用分				円				円				
法第203条の3第3号適用分				円				円				
本 人		控除対象配偶者の有無等			扶養親族の数			障害者の数		社会保険料の金額		
特別障害者	その他の障害者	有	無	老人控除対象配偶者	特定	老人	その他	特別障害者	その他	円		
(摘要)								35				
支払者	所在地											
	名称											
整理欄												

項番 35 同居特別障害人数が特別障害者数欄内にカッコ書きになっている様式例

平成 年度分 公的年金等支払報告書(個人別明細書)												
支払者	※区分											
	住所											
氏名	フリガナ											
	生年月日											
区 分				支 払 金 額				源 泉 徴 収 税 額				
所得税法第203条の3第1号適用分				円				円				
所得税法第203条の3第2号適用分				円				円				
所得税法第203条の3第3号適用分				円				円				
本 人		控除対象配偶者の有無等			扶養親族の数			障害者の数		社会保険料の金額		
特別障害者	その他の障害者	有	無	老人控除対象配偶者	特定	老人	その他	特別障害者	その他	円		
(摘要)								同居特別障害者の数				
								6歳未満の扶養親族の数				
								35				
								44				
支払者												
〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1												

項番 35 同居特別障害人数および項番 44 年少扶養人数が摘要欄に記載されている様式例

年度 公的年金等支払報告書	※ 支払を受ける者		住所 フリガナ		受給者生年月日	
	氏名				明大昭平年月日	
	区分			(A) 支払金額	源泉徴収税額	
	公的年金支給額					
	本人が障害者		控除対象配偶者の有無等		扶養親族の数	
	(B) 特別障害者	(C) その他障害者	(D) 老年者	(E) 有	(F) 無	(G) 老人控除対象配偶者
						(H) 特定
						(I) 老人
						(J) その他
						(K) 特別
					(L) その他	
(M) 社会保険料等の金額						
(概要) 年少扶養親族 2 44						
特別寡婦 26						
支払者住所(居所)又は所在地		※(こ)				
氏名又は名称		※(き)				

項番 44 年少扶養人数および項番 26 特別寡婦が摘要欄に記載されている様式例

平成 年分 公的年金等支払報告書

支払者	住所又		氏名	生年月日	1 明治	2 大正	3 昭和	4 平成	年	月	日
							*				
区分				支払金額		源泉徴収税額					
法第203条の3第1号適用分				円		円					
法第203条の3第2号適用分				円		円					
法第203条の3第3号適用分				円		円					
本人		控除対象配偶者の有無等		扶養親族の数			障害者の数		社会保険料の金額		
特別障害者	その他の障害者	有	無	老人控除対象配偶者	特定	老人	その他	特別	その他	円	
					人	人	人	人	人		
(概要) シトケイ 休ケイ 203 ジョウノ 3 ダイ 4 ゴウ: 〇〇〇エン 23											
支払者所在地											
名称											
整理欄											

項番 23 区分欄に表記されていない条項分の支払金額が摘要欄に記載されている様式例

《 データ入力連絡表 記載例 》

* 課税資料の原本を確認のうえ、判定不能のものを記載

データ種類: 公的年金等支払報告書

XXXX/XX/XX

No	イメージファイル名	項番	入力結果
1	20220003100212008712.tif	22	123456
2	20220003100212008713.tif	全体	空白
3	20220003100215010127.tif	27	1
4	20220003100215010331.tif	15	ハマツ タロウ
5	20220003100216021974.tif	16~19	3081218
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			

データ入力仕様書

(給与支払報告書)

給与支払報告書入力データ 1レコード 2000バイト

1	送付票の情報	区分	資料番号	総括表①の情報	2000	総括表レコード
2001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表①の情報	4000	個人別明細レコード
4001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表①の情報	6000	個人別明細レコード
6001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表①の情報	8000	個人別明細レコード
8001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表①の情報	10000	個人別明細レコード
10001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表①の情報	12000	個人別明細レコード
12001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表①の情報	14000	個人別明細レコード
14001	送付票の情報	区分	資料番号	仕切紙の情報	16000	仕切紙レコード
16001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表①の情報	18000	個人別明細レコード
18001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表①の情報	20000	個人別明細レコード
20001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表②の情報	22000	総括表レコード
22001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表②の情報	24000	個人別明細レコード
24001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表②の情報	26000	個人別明細レコード
26001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表②の情報	28000	個人別明細レコード
28001	送付票の情報	区分	資料番号	仕切紙の情報	30000	仕切紙レコード
30001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表③の情報	32000	総括表レコード
32001	送付票の情報	区分	資料番号	仕切紙の情報	34000	仕切紙レコード
34001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表③の情報	36000	個人別明細レコード
36001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表③の情報	38000	個人別明細レコード
38001	送付票の情報	区分	資料番号	総括表③の情報	40000	個人別明細レコード

総括表と個人別明細書、仕切紙のレコードレイアウトは異なるがレコード長は 2000 バイトで同一

給与支払報告書（総括表）データ入力ファイル仕様書	作成修正日	版
	2022/11/2	1.4

ファイル名	給報DATA
レコード名	給報総括表
文字コード	SJIS
レコード長	2000Byte

項番	データ名	属性	桁数	開始	終了	説明	備考
1	市区町村CD	数字	6	1	6	「統計に用いる都道府県等の区域を示す標準コード（昭和45年行政管理庁告示第44号）」の該当コードを記録する。	固定「221309」を記録する。
2	送付票_年度	数字	4	7	10	送付票の「年度」、「簿冊番号」、「入力回」、「開始番号」、「終了番号」、「資料区分」を各項目に右詰（前ゼロ）で記録する。	
3	送付票_簿冊番号	数字	5	11	15		
4	送付票_入力回	数字	5	16	20		
5	送付票_開始	数字	6	21	26		
6	送付票_終了	数字	6	27	32		
7	送付票_資料区分	半角	2	33	34		
8	レコード区分	半角	1	35	35	固定「1」を記録する。	
9	資料番号_年度	数字	4	36	39	イメージデータのファイル名（20桁、拡張子を除く）を記録する。	
10	資料番号_簿冊番号	数字	5	40	44		
11	資料番号_入力回	数字	5	45	49		
12	資料番号_番号	数字	6	50	55		
13	分冊区分	数字	1	56	56	固定「0（ゼロ）」を記録する。	
14	受付年月日_年号	数字	1	57	57	明治は「1」、大正は「2」、昭和は「3」、平成は「4」、令和は「5」、その他は「9」を記録する。	
15	受付年月日_年	数字	2	58	59	2けたを使用し、1けたの場合は右詰（前ゼロ）で記録する。	
16	受付年月日_月	数字	2	60	61	同上	
17	受付年月日_日	数字	2	62	63	同上	
18	指定番号	数字	12	64	75	指定番号を右詰（前ゼロ）で記録する。	
19	受給者総人員	数字	8	76	83	右詰（前ゼロ）で記録する。	
20	市区町村数	数字	8	84	91	右詰（前ゼロ）で記録する。	固定「00000000」を記録する。
21	報告人員_在職	数字	8	92	99	最大4桁までを左詰（残りは空白）で記録する。	
22	報告人員_退職	数字	8	100	107	同上	
23	報告人員_その他	数字	8	108	115	同上	
24	報告人員_合計	数字	8	116	123	同上	
25	個人番号又は法人番号	数字	13	116	128	提出義務者の個人番号又は法人番号を右詰（前空白）で記録する。	
26	納入書要不要	数字	1	137	137	必要の場合は「1」、不要の場合は「2」を記録する。未記載の場合は空白で記録する。	
27	余白	半角	1863	138	2000	空白を記録する。	

給与支払報告書（仕切紙）データ入力ファイル仕様書	作成修正日	版
	2019/11/06	1.5

ファイル名	給報DATA
レコード名	仕切紙
文字コード	SJIS
レコード長	2000Byte

項番	データ名	属性	桁数	開始	終了	説明	備考
1	市区町村CD	数字	6	1	6	「統計に用いる都道府県等の区域を示す標準コード（昭和45年行政管理庁告示第44号）」の該当コードを記録する。	固定「221309」を記録する。
2	送付票 年度	数字	4	7	10	送付票の「年度」、「簿冊番号」、「入力回」、「開始番号」、「終了番号」、「資料区分」を各項目に右詰（前ゼロ）で記録する。 普通徴収（受託者差込）は「4」、普通徴収（受託者差込以外）は「5」を記録する。	
3	送付票 簿冊番号	数字	5	11	15		
4	送付票 入力回	数字	5	16	20		
5	送付票 開始	数字	6	21	26		
6	送付票 終了	数字	6	27	32		
7	送付票 資料区分	半角	2	33	34		
8	レコード区分	半角	1	35	35		
9	資料番号 年度	数字	4	36	39		
10	資料番号 簿冊番号	数字	5	40	44		
11	資料番号 入力回	数字	5	45	49	空白を記録する。	
12	資料番号 番号	数字	6	50	55		
13	余白1	数字	8	56	63	指定番号を右詰（前ゼロ）で記録する。	
14	指定番号	数字	12	64	75		
15	余白2	半角	48	76	123	空白を記録する。	
16	個人番号又は法人番号	数字	13	124	136	同上	
17	余白3	半角	1864	137	2000	同上	

給与支払報告書（個人別明細書）データ入力ファイル仕様書	作成修正日	版
	2022/11/2	1.8

ファイル名	給報DATA
レコード名	給報個人別明細書
文字コード	SJIS
レコード長	2000Byte

項番	データ名	属性	桁数	開始	終了	説明	備考
1	市区町村CD	数字	6	1	6	総括レコードの「市区町村コード」と同一の内容を記録する。	固定「221309」を記録する。
2	送付票_年度	数字	4	7	10	送付票の「年度」、「簿冊番号」、「入力回」、「開始番号」、「終了番号」、「資料区分」を各項目に右詰（前ゼロ）で記録する。	
3	送付票_簿冊番号	数字	5	11	15		
4	送付票_入力回	数字	5	16	20		
5	送付票_開始	数字	6	21	26		
6	送付票_終了	数字	6	27	32		
7	送付票_資料区分	半角	2	33	34		
8	レコード区分	半角	1	35	35		
9	資料番号_年度	数字	4	36	39	イメージデータのファイル名（20桁、拡張子を除く）を記録する。	
10	資料番号_簿冊番号	数字	5	40	44		
11	資料番号_入力回	数字	5	45	49		
12	資料番号_番号	数字	6	50	55		
13	余白1	半角	8	56	63	空白を記録する。	
14	指定番号	数字	12	64	75	総括レコードの「指定番号」と同一の内容を記録する。	
15	受給者番号	半角	30	76	105	受給者番号を記録する。	
16	カナ氏名	半角カナ	50	106	155	支払いを受ける者のカナ氏名を左詰で記録する。	
17	給与収入	数字	12	156	167	書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
18	給与所得	数字	12	168	179	書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。 ※令和3年度（令和2年分）以降は、所得金額調整控除後の金額を記録する。	
19	所得控除合計額	数字	12	180	191	書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
20	源泉徴収税額	数字	12	192	203	同上	
21	控配_有	半角	1	204	204	控除対象配偶者、または源泉控除対象配偶者を有する場合には「1」、それ以外の場合には空白とし、書面による場合の記載に準じて記録する。	
22	控配_無	半角	1	205	205	空白を記録する。	
23	控配_老人	半角	1	206	206	控除対象配偶者（老人）、または源泉控除対象配偶者（老人）を有する場合には「1」、それ以外の場合には空白とし、書面による場合の記載に準じて記録する。	
24	配偶者特別控除	数字	12	207	218	配偶者控除、または配偶者特別控除の金額を書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
25	扶養_特定扶養	数字	2	219	220	特定扶養の数を、書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
26	扶養_同居老人	数字	2	221	222	同居老人の数を書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	「老人」の欄に記載される内書内容を入力する。
27	扶養_老人扶養	数字	2	223	224	老人扶養の数を書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
28	扶養_その他扶養	数字	2	225	226	その他扶養の数を書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
29	余白2	半角	2	227	228	空白を記録する。	
30	障害_同居特障	数字	2	229	230	同居特別障害者の数を書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	「特別」の欄に記載される内書内容を入力する。
31	障害_特別障害	数字	2	231	232	同一生計配偶者が障害者に該当する場合は算入する。	
32	障害_普通障害	数字	2	233	234	障害者の数を特別、その他の区分に応じ、書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
33	小規模企業共済等	数字	12	235	246	同一生計配偶者が障害者に該当する場合は算入する。	
34	社会保険料控除額	数字	12	247	258	書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	「社会保険料等の金額」の欄に記載される内書内容を入力する。
35	生命保険料控除額	数字	12	259	270	同上	

項番	データ名	属性	桁数	開始	終了	説明	備考
36	損害保険料控除額	数字	12	271	282	地震保険料の控除額を、書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
37	住宅取得等控除額	数字	12	283	294	書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
38	配偶者の合計所得	数字	12	295	306	同上 （配偶者控除または配偶者特別控除の適用を受ける場合の配偶者の合計所得またはその見積額、または源泉控除対象配偶者の合計所得金額の見積額。）	
39	個人年金保険料	数字	12	307	318	旧個人年金保険料の金額を、書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
40	長期損害保険料	数字	12	319	330	旧長期損害保険料の金額を、書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
41	扶養_年少扶養	数字	2	331	332	16歳未満扶養親族の数を、書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。	
42	夫あり	半角	1	333	333	空白を記録する。	
43	未成年者	半角	1	334	334	該当する場合には「1」を記録する。	
44	乙欄区分	半角	1	335	335	同上	
45	本人特別障害	半角	1	336	336	同上	
46	本人普通障害	半角	1	337	337	同上	
47	老年者	半角	1	338	338	空白を記録する。	
48	寡婦	半角	1	339	339	該当する場合には「1」を記録する。	
49	特別寡婦	半角	1	340	340	令和3年度（令和2年分）以降は記録しない。	
50	寡夫	半角	1	341	341	同上	
51	勤労学生	半角	1	342	342	該当する場合には「1」を記録する。	
52	死亡退職	半角	1	343	343	同上	
53	災害者	半角	1	344	344	同上	
54	外国人	半角	1	345	345	同上	
55	中途就退_就職	数字	1	346	346	中途就職の場合は「1」を記録する。	
56	中途就退_退職	数字	1	347	347	中途退職の場合は「1」を記録する。	
57	中途就退年月日_年号	数字	1	348	348	明治は「1」、大正は「2」、昭和は「3」、平成は「4」、令和は「5」、その他は「9」を記録する。	
58	中途就退年月日_年	数字	2	349	350	2けたを使用し、1けたの場合は右詰（前ゼロ）で記録する。	
59	中途就退年月日_月	数字	2	351	352	同上	
60	中途就退年月日_日	数字	2	353	354	同上	
61	生年月日_年号	数字	1	355	355	明治は「1」、大正は「2」、昭和は「3」、平成は「4」、令和は「5」、その他は「9」を記録する。	
62	生年月日_年	数字	2	356	357	2けたを使用し、1けたの場合は右詰（前ゼロ）で記録する。	
63	生年月日_月	数字	2	358	359	同上	
64	生年月日_日	数字	2	360	361	同上	
65	年調済区分	半角	1	362	362	年調済分給報である場合は「1」を記録する。	
66	普徴区分	半角	1	363	363	普徴分給報である場合は「1」を記録する。	
67	前職分給与収入	数字	12	364	375	前職分の給与収入を右詰（前ゼロ）で記録する。	
68	前職有区分	半角	1	376	376	前職がある場合は「1」を記録する。	
69	訂正分給報区分	半角	1	377	377	訂正分給報である場合は「1」を記録する。	
70	非合算区分	半角	1	378	378	空白を記録する。	
71	強制均等割課税区分	半角	1	379	379	同上	
72	租税条約区分	半角	1	380	380	該当する場合には「1」を記録する。	
73	宛名番号	数字	15	381	395	空白を記録する。	
74	住宅借入特控家屋居住年1	数字	2	396	397		
75	住宅借入特控家屋居住月1	数字	2	398	399		
76	住宅借入特控家屋居住日1	数字	2	400	401		
77	住宅借入特控適用数	数字	1	402	402		
78	住宅借入特控可能額	数字	12	403	414		
79	住宅借入特控区分1	数字	2	415	416	住宅の新築・購入又は増改築の区分により住は「01」、認は「02」、増は「03」、震は「04」、住（特）は「11」、認（特）は「12」、増（特）は「13」、住（特特）は「21」、認（特特）は「22」、震（特特）は「24」、「住（特特特）」は「31」を入力、「認（特特特）」は「32」を入力、「震（特特特）」は「34」の番号を記録する。 なお、複数の所得税における住借控除の適用を受ける場合は、1回目の所得税におけ	
80	住宅借入金等の額1	数字	12	417	428		
81	住宅借入特控家屋居住年2	数字	2	429	430		
82	住宅借入特控家屋居住月2	数字	2	431	432		
83	住宅借入特控家屋居住日2	数字	2	433	434		

項番	データ名	属性	桁数	開始	終了	説明	備考
84	住宅借入特控区分2		2	435	436	住宅の新築・購入又は増改築の区分により住は「01」、認は「02」、増は「03」、震は「04」、住(特)は「11」、認(特)は「12」、増(特)は「13」、住(特特)は「21」、認(特特)は「22」、震(特特)は「24」、「住(特特特)」は「31」を入力、「認(特特特)」は「32」を入力、「震(特特特)」は「34」の番号を記録す	
85	住宅借入金等の額2	数字	12	437	448		
86	新生命保険料	数字	12	449	460	新生命保険料の金額を、書面による場合の記載に準じて右詰(前ゼロ)で記録する。	
87	旧生命保険料	数字	12	461	472	旧生命保険料の金額を、書面による場合の記載に準じて右詰(前ゼロ)で記録する。	
88	介護医療保険料	数字	12	473	484	介護医療保険料の金額を、書面による場合の記載に準じて右詰(前ゼロ)で記録す	
89	新個人年金保険料	数字	12	485	496	新個人年金保険料の金額を、書面による場合の記載に準じて右詰(前ゼロ)で記録す	
90	個人番号	数字	12	497	508	支払いを受ける者の個人番号を右詰(前ゼロ)で記録する。	
91	摘要	全角	130	509	638	空白を記録する。	
92	控除対象配偶者_カナ氏名	半角 カナ	60	639	698	空白を記録する。	
93	控除対象配偶者_個人番号	数字	12	699	710	右詰(前ゼロ)で記録する。	
94	扶養1_カナ氏名	半角 カナ	60	711	770	空白を記録する。	
95	扶養1_個人番号	数字	12	771	782	右詰(前ゼロ)で記録する。	
96	扶養2_カナ氏名	半角 カナ	60	783	842	空白を記録する。	
97	扶養2_個人番号	数字	12	843	854	右詰(前ゼロ)で記録する。	
98	扶養3_カナ氏名	半角 カナ	60	855	914	空白を記録する。	
99	扶養3_個人番号	数字	12	915	926	右詰(前ゼロ)で記録する。	
100	扶養4_カナ氏名	半角 カナ	60	927	986	空白を記録する。	
101	扶養4_個人番号	数字	12	987	998	右詰(前ゼロ)で記録する。	
102	年少扶養1_カナ氏名	半角 カナ	60	999	1058	空白を記録する。	
103	年少扶養1_個人番号	数字	12	1059	1070	右詰(前ゼロ)で記録する。	
104	年少扶養2_カナ氏名	半角 カナ	60	1071	1130	空白を記録する。	
105	年少扶養2_個人番号	数字	12	1131	1142	右詰(前ゼロ)で記録する。	
106	年少扶養3_カナ氏名	半角 カナ	60	1143	1202	空白を記録する。	
107	年少扶養3_個人番号	数字	12	1203	1214	右詰(前ゼロ)で記録する。	
108	年少扶養4_カナ氏名	半角 カナ	60	1215	1274	空白を記録する。	
109	年少扶養4_個人番号	数字	12	1275	1286	右詰(前ゼロ)で記録する。	
110	扶養5以降_個人番号		200	1287	1486	空白を記録する。	
111	年少扶養5以降_個人番号		200	1487	1686	空白を記録する。	
112	同配適用区分	半角	1	1687	1687	摘要欄に「同配」または「同一生計配偶者」が記載された場合は「1」を記録する。それ以外の場合は空白を記録する。	
113	漢字住所	半角	200	1688	1887	空白を記録する。	
114	基礎控除額	数字	6	1888	1893	書面による場合の記載に準じて右詰(前ゼロ)で記録する。 (48万の場合は記載を省略することが可能であり、省略された場合は空白を記録す	
115	所得金額調整控除額	数字	6	1894	1899	書面による場合の記載に準じて右詰(前ゼロ)で記録する。	
116	ひとり親	半角	1	1900	1900	該当する場合には「1」を記録する。	
117	余白3	半角	100	1901	2000	空白を記録する。	

データ送付票（給与支払報告書用）項番対応図

データ送付票 給与支払報告書

浜松市役所市民税課
TEL(053)457-2142

年度 2018 2	簿冊番号 00042 3	入力回 00 4	開始番号 ~~~~~ 5	~	終了番号 ~~~~~ 6
資料区分 4 2 7					送付枚数 枚
連絡事項					

総括表 項番対応図

資料番号はファイル名を入力する
202200042*****

④ 浜松市提出用 給与支払報告書(総括表) (あて先)浜松市長 届定番号 18

令和 年 月 日提出

給与の支払期間	令和 年 月分から 月分まで		
給与支払者の法人番号又は個人番号	25	※お給で記載	
フリガナ 給与支払者の名称又は氏名		受給者総人員	19
フリガナ 同上の所在地		特別徴収対象者	21
		普通徴収対象者 (退職者又は退職予定者)	22
給与支払者が法人である場合の代表者の氏名		普通徴収対象者 (退職者を除く)	23
連絡者の氏名、所属、係名及び電話番号	所属係名(フリガナ) 氏名 (電話番号)	合計	24

受付
04.1.31

○前職分の給与を合算している報告書がある場合は、該当者の摘要欄に前職分(事業所名・支払金額・社会保険料・源泉徴収額等)を必ず記載してください。 15,16,17

○給与支払者の名称及び所在地の変更があった場合は、記載事項を訂正してください。また【特別徴収義務者の所在地・名称等変更届出書】の提出も併せてお願いします。

○浜松市に報告する対象者がいない場合は、下記の該当理由に○を付けて提出をお願いします。

受給者なし (年 月) 26 納入書の送付 必要・不要

※浜松市総括表には「納入書の送付」欄はありません

※受付年月日は 回次ごとの納品日とする

個人別明細イメージ項番対応図 <サンプル B (旧様式 H31 版) >

31 給与支払報告書(個人別明細書)	※ 種 別 送 理 番 号															66 普																							
	※ 区分										(受給者番号)					15																							
	支払を受ける者 住所										(個人番号)					90																							
											氏名					(役職名)																							
																(フリガナ)					16																		
	種 別			支 払 金 額			給与所得控除後の金額			所得控除の額の合計額			源泉徴収税額																										
				17			18			19			20																										
	(源泉)控除対象配偶者の有無等		配偶者(特別)控除の額		控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)				16歳未満扶養親族の数		障害者の数(本人を除く。)		非居住者である親族の数																										
	21		23		24		25		26		27		28		41		30		31		32																		
	社会保険料等の金額				生命保険料の控除額				地震保険料の控除額				住宅借入金等特別控除の額																										
33				34				35				36				37																							
(摘要)																																							
有・無 68 前職収入 67 同配 112 租税条約 72 69 再提出 66 普																																							
生命保険料の内訳		新生命保険料の金額		旧生命保険料の金額		介護医療料		新個人年金保険料の金額		旧個人年金保険料の金額																													
		86		87		88		89		39																													
住宅借入金等特別控除の内訳		住宅借入金等特別控除適用回数		居住開始年月日(1回目)		住宅借入金等特別控除区分(1回目)		住宅借入金等特別控除区分(2回目)		住宅借入金等特別控除区分(2回目)																													
		77		74		75		76		79		80																											
		78		81		82		83		84		85																											
(源泉特別)控除対象配偶者		(フリガナ)氏名		区分		配偶者の合計所得		国民年金保険料等の金額		旧長期損害保険料の金額																													
		92				38				40																													
控除対象扶養親族		(フリガナ)氏名		区分		16歳未満の扶養親族		(フリガナ)氏名		区分		5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号																											
		94						102																															
		95						103																															
		96						104																															
		97						105																															
		98						106																															
		99						107																															
		100						108																															
		101						109																															
																		110																					
												111																											
②未成年者		外国人		死亡退職		災害者		乙欄		本人が報告者		寡婦		①特		②その		③一		④特		勤労学生		中途就・退職		受給者生年月日													
43		54		52		53		44		45		46		48		49		50		51		55		56		57,58		59		60		61		62		63		64	
(市区町村提出用)																																							
支払者 個人番号又は住所(居所)又は所在地 氏名又は名称 (電話)																																							
(摘要)には5人目以降の扶養親族、障害者である同一生計配偶者(控除対象配偶者を除く。)の氏名及び前職分の加算額、支払者等を記載してください。																																							

個人別明細イメージ項番対応図 <サンプル C (旧様式 H30 版) >

給与支払報告書 (個人別明細書)										第十七号様式別表 (用紙日本工業規格 A 5) (第十条関係)									
66 普										66 普									
支払を受ける者										受給者番号 15									
										(個人番号) 90									
										(役職名)									
										氏名 (フリガナ) 16									
種別										支払金額									
										給与所得控除後の金額									
										所得控除の額の合計額									
										源泉徴収税額									
17										18									
19										20									
控除対象配偶者										控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)									
配偶者特別控除の額										16歳未満扶養親族の数									
老人										障害者の数 (本人を除く。)									
特定										その他									
21										22									
23										24									
25										26									
27										28									
41										30									
31										32									
33										34									
35										36									
37																			
(摘要)										66 普									
有・無 68										前職収入 67									
同配 112										租税条約 72									
										69 再提出									
66 普										66 普									
生命保険料の金額の内訳										介護医療保険料の金額									
衛生生命保険料の金額 86										新個人年金保険料の金額 89									
旧生命保険料の金額 87										旧個人年金保険料の金額 39									
住宅借入金等特別控除適用額 77										住宅借入金等特別控除区分(1回目) 74									
住宅借入金等特別控除の内訳										住宅借入金等特別控除区分(2回目) 75									
住宅借入金等特別控除可能額 78										住宅借入金等特別控除区分(3回目) 76									
										住宅借入金等特別控除区分(2回目) 79									
										住宅借入金等特別控除区分(2回目) 84									
										住宅借入金等特別控除区分(2回目) 85									
92										38									
93										40									
94										102									
95										103									
96										104									
97										105									
98										106									
99										107									
100										108									
101										109									
110										111									
43										54									
52										53									
44										45									
46										48									
49										50									
51										55									
56										57,58,59,60									
61,62,63,64																			
支払者										(右語で記載してください。)									
住所(居所)又は所在地																			
氏名又は名称										(電話)									

個人別明細イメージ項番対応図 <サンプル D (旧様式 H28 版) >

※ 整理番号		※ 整理番号		※ 整理番号		66 普	
※ 区分		氏名		氏名		15	
住所		住所		住所		16	
種別		給与所得控除後の金額		所得控除の額の合計額		源泉徴収税額	
支払金額		17		18		19	
控除対象配偶者の有無等		控除対象扶養親族の額		障害者の額		社会保険料等の金額	
21		22		23		24	
25		26		27		28	
29		30		31		32	
33		34		35		36	
37		38		39		40	
79		80		81		82	
83		84		85		86	
68		69		70		71	
72		73		74		75	
76		77		78		79	
87		88		89		90	
91		92		93		94	
95		96		97		98	
99		100		101		102	
103		104		105		106	
107		108		109		110	
111		112		113		114	
115		116		117		118	
119		120		121		122	
123		124		125		126	
127		128		129		130	
131		132		133		134	
135		136		137		138	
139		140		141		142	
143		144		145		146	
147		148		149		150	
151		152		153		154	
155		156		157		158	
159		160		161		162	
163		164		165		166	
167		168		169		170	
171		172		173		174	
175		176		177		178	
179		180		181		182	
183		184		185		186	
187		188		189		190	
191		192		193		194	
195		196		197		198	
199		200		201		202	
203		204		205		206	
207		208		209		210	
211		212		213		214	
215		216		217		218	
219		220		221		222	
223		224		225		226	
227		228		229		230	
231		232		233		234	
235		236		237		238	
239		240		241		242	
243		244		245		246	
247		248		249		250	
251		252		253		254	
255		256		257		258	
259		260		261		262	
263		264		265		266	
267		268		269		270	
271		272		273		274	
275		276		277		278	
279		280		281		282	
283		284		285		286	
287		288		289		290	
291		292		293		294	
295		296		297		298	
299		300		301		302	
303		304		305		306	
307		308		309		310	
311		312		313		314	
315		316		317		318	
319		320		321		322	
323		324		325		326	
327		328		329		330	
331		332		333		334	
335		336		337		338	
339		340		341		342	
343		344		345		346	
347		348		349		350	
351		352		353		354	
355		356		357		358	
359		360		361		362	
363		364		365		366	
367		368		369		370	
371		372		373		374	
375		376		377		378	
379		380		381		382	
383		384		385		386	
387		388		389		390	
391		392		393		394	
395		396		397		398	
399		400		401		402	
403		404		405		406	
407		408		409		410	
411		412		413		414	
415		416		417		418	
419		420		421		422	
423		424		425		426	
427		428		429		430	
431		432		433		434	
435		436		437		438	
439		440		441		442	
443		444		445		446	
447		448		449		450	
451		452		453		454	
455		456		457		458	
459		460		461		462	
463		464		465		466	
467		468		469		470	
471		472		473		474	
475		476		477		478	
479		480		481		482	
483		484		485		486	
487		488		489		490	
491		492		493		494	
495		496		497		498	
499		500		501		502	
503		504		505		506	
507		508		509		510	
511		512		513		514	
515		516		517		518	
519		520		521		522	
523		524		525		526	
527		528		529		530	
531		532		533		534	
535		536		537		538	
539		540		541		542	
543		544		545		546	
547		548		549		550	
551		552		553		554	
555		556		557		558	
559		560		561		562	
563		564		565		566	
567		568		569		570	
571		572		573		574	
575		576		577		578	
579		580		581		582	
583		584		585		586	
587		588		589		590	
591		592		593		594	
595		596		597		598	
599		600		601		602	
603		604		605		606	
607		608		609		610	
611		612		613		614	
615		616		617		618	
619		620		621		622	
623		624		625		626	
627		628		629		630	
631		632		633		634	
635		636		637		638	
639		640		641		642	
643		644		645		646	
647		648		649		650	
651		652		653		654	
655		656		657		658	
659		660		661		662	
663		664		665		666	
667		668		669		670	
671		672		673		674	
675		676		677		678	
679		680		681		682	
683		684		685		686	
687		688		689		690	
691		692		693		694	
695		696		697		698	
699		700		701		702	
703		704		705		706	
707		708		709		710	
711		712		713		714	
715		716		717		718	
719		720		721		722	
723		724		725		726	
727		728		729		730	
731		732		733		734	
735		736		737		738	
739		740		741		742	
743		744		745		746	
747		748		749		750	
751		752		753		754	
755		756		757		758	
759		760		761		762	
763		764		765		766	
767		768		769		770	
771		772		773		774	
775		776		777		778	
779		780		781		782	
783		784		785		786	
787		788		789		790	
791		792		793		794	
795		796		797		798	
799		800		801		802	
803		804		805		806	
807		808		809		810	
811		812		813		814	
815		816		817		818	
819		820		821		822	
823		824		825		826	
827		828		829		830	
831		832		833		834	
835		836		837		838	
839		840		841		842	
843		844		845		846	
847		848		849		850	
851		852		853		854	
855		856		857		858	
859		860		861		862	
863		864		865		866	
867		868		869		870	
871		872		873		874	
875		876		877		878	
879		880		881		882	
883		884		885		886	
887		888		889		890	
891		892		893		894	
895		896		897		898	
899		900		901		902	
903		904		905		906	
907		908		909		910	
911		912		913		914	
915		916		917		918	

24		給与支払報告書 (個人別明細書)		(市区町村提出用)	
※ 区分		※ 種類別		※ 整理番号	
支払を受ける者		氏名		15 (受給者番号)	
住所		フリガナ		16 (役職名)	
種別		支払金額		所得控除の額の合計額	
源泉徴収税額		17		19	
給与所得控除後の金額		18		20	
控除対象配偶者等		控除対象扶養親族の数		社会保険料等の金額	
21 22		23 24		33 34	
23 24		25 26 27		35 36	
25 26 27		28 29		37 38	
28 29		30 31 32		39 40	
30 31 32		33 34		35 36	
33 34		35 36		37 38	
35 36		37 38		39 40	
37 38		39 40		41 42	
39 40		41 42		43 44	
41 42		43 44		45 46	
43 44		45 46		47 48	
45 46		47 48		49 50	
47 48		49 50		51 52	
49 50		51 52		53 54	
51 52		53 54		55 56	
53 54		55 56		57 58 59 60	
55 56		57 58 59 60		61 62 63 64	
57 58 59 60		61 62 63 64		65 66 67 68	
61 62 63 64		65 66 67 68		69 70 71 72	
65 66 67 68		69 70 71 72		73 74 75 76	
69 70 71 72		73 74 75 76		77 78 79 80	
73 74 75 76		77 78 79 80		81 82 83 84	
77 78 79 80		81 82 83 84		85 86 87 88	
81 82 83 84		85 86 87 88		89 90 91 92	
85 86 87 88		89 90 91 92		93 94 95 96	
89 90 91 92		93 94 95 96		97 98 99 100	
93 94 95 96		97 98 99 100		101 102 103 104	
97 98 99 100		101 102 103 104		105 106 107 108	
101 102 103 104		105 106 107 108		109 110 111 112	
105 106 107 108		109 110 111 112		113 114 115 116	
109 110 111 112		113 114 115 116		117 118 119 120	
113 114 115 116		117 118 119 120		121 122 123 124	
117 118 119 120		121 122 123 124		125 126 127 128	
121 122 123 124		125 126 127 128		129 130 131 132	
125 126 127 128		129 130 131 132		133 134 135 136	
129 130 131 132		133 134 135 136		137 138 139 140	
133 134 135 136		137 138 139 140		141 142 143 144	
137 138 139 140		141 142 143 144		145 146 147 148	
141 142 143 144		145 146 147 148		149 150 151 152	
145 146 147 148		149 150 151 152		153 154 155 156	
149 150 151 152		153 154 155 156		157 158 159 160	
153 154 155 156		157 158 159 160		161 162 163 164	
157 158 159 160		161 162 163 164		165 166 167 168	
161 162 163 164		165 166 167 168		169 170 171 172	
165 166 167 168		169 170 171 172		173 174 175 176	
169 170 171 172		173 174 175 176		177 178 179 180	
173 174 175 176		177 178 179 180		181 182 183 184	
177 178 179 180		181 182 183 184		185 186 187 188	
181 182 183 184		185 186 187 188		189 190 191 192	
185 186 187 188		189 190 191 192		193 194 195 196	
189 190 191 192		193 194 195 196		197 198 199 200	
193 194 195 196		197 198 199 200		201 202 203 204	
197 198 199 200		201 202 203 204		205 206 207 208	
201 202 203 204		205 206 207 208		209 210 211 212	
205 206 207 208		209 210 211 212		213 214 215 216	
209 210 211 212		213 214 215 216		217 218 219 220	
213 214 215 216		217 218 219 220		221 222 223 224	
217 218 219 220		221 222 223 224		225 226 227 228	
221 222 223 224		225 226 227 228		229 230 231 232	
225 226 227 228		229 230 231 232		233 234 235 236	
229 230 231 232		233 234 235 236		237 238 239 240	
233 234 235 236		237 238 239 240		241 242 243 244	
237 238 239 240		241 242 243 244		245 246 247 248	
241 242 243 244		245 246 247 248		249 250 251 252	
245 246 247 248		249 250 251 252		253 254 255 256	
249 250 251 252		253 254 255 256		257 258 259 260	
253 254 255 256		257 258 259 260		261 262 263 264	
257 258 259 260		261 262 263 264		265 266 267 268	
261 262 263 264		265 266 267 268		269 270 271 272	
265 266 267 268		269 270 271 272		273 274 275 276	
269 270 271 272		273 274 275 276		277 278 279 280	
273 274 275 276		277 278 279 280		281 282 283 284	
277 278 279 280		281 282 283 284		285 286 287 288	
281 282 283 284		285 286 287 288		289 290 291 292	
285 286 287 288		289 290 291 292		293 294 295 296	
289 290 291 292		293 294 295 296		297 298 299 300	
293 294 295 296		297 298 299 300		301 302 303 304	
297 298 299 300		301 302 303 304		305 306 307 308	
301 302 303 304		305 306 307 308		309 310 311 312	
305 306 307 308		309 310 311 312		313 314 315 316	
309 310 311 312		313 314 315 316		317 318 319 320	
313 314 315 316		317 318 319 320		321 322 323 324	
317 318 319 320		321 322 323 324		325 326 327 328	
321 322 323 324		325 326 327 328		329 330 331 332	
325 326 327 328		329 330 331 332		333 334 335 336	
329 330 331 332		333 334 335 336		337 338 339 340	
333 334 335 336		337 338 339 340		341 342 343 344	
337 338 339 340		341 342 343 344		345 346 347 348	
341 342 343 344		345 346 347 348		349 350 351 352	
345 346 347 348		349 350 351 352		353 354 355 356	
349 350 351 352		353 354 355 356		357 358 359 360	
353 354 355 356		357 358 359 360		361 362 363 364	
357 358 359 360		361 362 363 364		365 366 367 368	
361 362 363 364		365 366 367 368		369 370 371 372	
365 366 367 368		369 370 371 372		373 374 375 376	
369 370 371 372		373 374 375 376		377 378 379 380	
373 374 375 376		377 378 379 380		381 382 383 384	
377 378 379 380		381 382 383 384		385 386 387 388	
381 382 383 384		385 386 387 388		389 390 391 392	
385 386 387 388		389 390 391 392		393 394 395 396	
389 390 391 392		393 394 395 396		397 398 399 400	
393 394 395 396		397 398 399 400		401 402 403 404	
397 398 399 400		401 402 403 404		405 406 407 408	
401 402 403 404		405 406 407 408		409 410 411 412	
405 406 407 408		409 410 411 412		413 414 415 416	
409 410 411 412		413 414 415 416		417 418 419 420	
413 414 415 416		417 418 419 420		421 422 423 424	
417 418 419 420		421 422 423 424		425 426 427 428	
421 422 423 424		425 426 427 428		429 430 431 432	
425 426 427 428		429 430 431 432		433 434 435 436	
429 430 431 432		433 434 435 436		437 438 439 440	
433 434 435 436		437 438 439 440		441 442 443 444	
437 438 439 440		441 442 443 444		445 446 447 448	
441 442 443 444		445 446 447 448		449 450 451 452	
445 446 447 448		449 450 451 452		453 454 455 456	
449 450 451 452		453 454 455 456		457 458 459 460	
453 454 455 456		457 458 459 460		461 462 463 464	
457 458 459 460		461 462 463 464		465 466 467 468	
461 462 463 464		465 466 467 468		469 470 471 472	
465 466 467 468		469 470 471 472		473 474 475 476	
469 470 471 472		473 474 475 476		477 478 479 480	
473 474 475 476		477 478 479 480		481 482 483 484	
477 478 479 480		481 482 483 484		485 486 487 488	
481 482 483 484		485 486 487 488		489 490 491 492	
485 486 487 488		489 490 491 492		493 494 495 496	
489 490 491 492		493 494 495 496		497 498 499 500	
493 494 495 496		497 498 499 500		501 502 503 504	
497 498 499 500		501 502 503 504		505 506 507 508	
501 502 503 504		505 506 507 508		509 510 511 512	
505 506 507 508		509 510 511 512		513 514 515 516	
509 510 511 512		513 514 515 516		517 518 519 520	
513 514 515 516		517 518 519 520		521 522 523 524	
517 518 519 520		521 522 523 524		525 526 527 528	
521 522 523 524		525 526 527 528		529 530 531 532	
525 526 527 528		529 530 531 532		533 534 535 536	
529 530 531 532		533 534 535 536		537 538 539 540	
533 534 535 536		537 538 539 540		541 542 543 544	
537 538 539 540		541 542 543 544		545 546 547 548	
541 542 543 544		545 546 547 548		549 550 551 552	
545 546 547 548		549 550 551 552		553 554 555 556	
549 550 551 552		553 554 555 556		557 558 559 560	
553 554 555 556		557 558 559 560		561 562 563 564	
557 558 559 560		561 562 563 564		565 566 567 568	
561 562 563 564		565 566 567 568		569 570 571 572	
565 566 567 568		569 570 571 572		573 574 575 576	
569 570 571 572		573 574 575 576		577 578 579 580	
573 574 575 576		577 578 579 580		581 582 583 584	
577 578 579 580		581 582 583 584		585 586 587 588	
581 582 583 584		585 586 587 588		589 590 591 592	
585 586 587 588		589 590 591 592		593 594 595 596	
589 590 591 592		593 594 595 596		597 598 599 600	
593 594 595 596		597 598 599 600		601 602 603 604	
597 598 599 600		601 602 603 604		605 606 607 608	
601 602 603 604		605 606 607 608		609 610 611 612	
605 606 607 608		609 610 611 612		613 614 615 616	
609 610 611 612		613 614 615 616		617 618 619 620	
613 614 615 616		617 618 619 620		621 622 623 624	
617 618 619 620		621 622 623 624		625 626 627 628	
621 622 623 624</					

個人別明細イメージ項番対応図 <サンプル G (新様式 手紙付版) >

〒430-8652

静岡県浜松市中区元城町 103-2

浜松市中区役所

住民税担当課 御中

平成 31 年 3 月 8 日

〒〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇県〇〇町〇〇-〇

〇〇市役所 市民税課

住民税課税資料の送付について

このことについて、賦課期日現在、貴区市町村に住所（家屋敷・事務所）があると思われるので、下記のとおり送付します。

1. 該当者 氏名 山田 花子
 生年月日 昭和 1 年 1 月 1 日
 住所 静岡県浜松市中区〇〇町▽▽- 1
 移動日 平成 30 年 10 月 19 日
 当市での住所 〇〇県〇〇町〇〇-〇

2. 送付資料 以下の通り 給報

手紙部分は入力しない。
 下の給報部分を入力する。

31	市区分	68 普
支払を受ける者	住所	氏名
15	16	17
18	19	20
21	22	23
24	25	26
27	28	29
30	31	32
33	34	35
36	37	38
39	40	41
42	43	44
45	46	47
48	49	50
51	52	53
54	55	56
57	58	59
60	61	62
63	64	65

個人別明細イメージ項番対応図 <サンプル H (旧様式 H28 手紙付版) >

〒430-8652
 静岡県浜松市中区元城町 103-2
 浜松市中区役所
 住民税担当課 御中

平成 31 年 3 月 8 日

〒〇〇〇-〇〇〇〇
 〇〇県〇〇町〇〇-〇
 〇〇市役所 市民税課

住民税課税資料の送付について

このことについて、賦課期日現在、貴区市町村に住所（家屋敷・事務所）があると思われるので、下記のとおり送付します。

1. 該当者 氏 名 山田 花子
 生年 月日 昭和 1 年 1 月 1 日
 住 所 静岡県浜松市中区〇〇町▽▽-1
 移 動 日 平成 30 年 10 月 19 日
 当市での住所 〇〇県〇〇町〇〇-〇

手紙部分は入力しない。
 下の給報部分を入力する。

2. 送付資料 以下の通り 給報

給与支払報告書（個人別明細書）

支 払 受 け 取 る 者	支 払 区 分	住 所	氏 名	(受給者番号)	15	
				(フリガナ)	16	
				(役職名)		
種 別	支 払 金 額	給 与 所 得 控 除 後 の 金 額	所 得 控 除 の 額 の 合 計 額	課 税 徴 収 税 額		
	17	18	19	20		
控除対象配偶者の有無等	控除の額	控除対象扶養親族の数(配偶者を除く)	控除対象扶養親族の種別	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	32	33	34
35	36	37				
(摘要) 住宅借入金等特別控除可能額	78	通用数	77	年金保険料等の金額		介護医療保険料の金額
区分1 居住開始年月日	74.75.76	住借入金額1	80	配属者の合計所得	38	新設区長保険料の金額
区分2 居住開始年月日	81.82.83	住借入金額2	85	新設生命保険料の金額	86	新設区長年金保険料の金額
有・無	68	前職収入	67	再提出	69	再提出
68	69	112	69	再提出	68	普
中途・退職		受給者生年月日				
41	42	43	44	45	46	47
48	49	50	51	52	53	54
55	56	57	58	59	60	61
62	63	64				
支 払 住 所 (居所) 又は所在地						
支 払 氏 名 又は 名称						

・データ入力指示書（給報－総括表）

項番	名 称	詳 細
1	市区町村CD	固定「221309」を入力する
9 10 11 12	資料番号	イメージデータのファイル名（20桁、拡張子を除く）を入力する
14	受付年月日_年号	年が、30、31の場合は、平成「4」を入力する。また、元、1、01、2、02、3、03、4、04、5、05の場合は、令和「5」を入力する。
15 16 17	受付年月日_年 受付年月日_月 受付年月日_日	受付年月日は、別紙「給与支払報告書関連事務当初課税業務生産計画（給報）」の回次毎の納品日を入力する。
18	指定番号	イメージデータでは10桁で記載されているので、12桁右詰前ゼロで入力する 10桁の数字以外（桁不足、桁オーバー、未入力）は、問い合わせとする（データ入力連絡表に記載） 指定番号の数字が一部読みにくい場合は、判断入力する（データ入力連絡表に記載）
19	受給者総人員	“0”（ゼロ）の場合は、「0（ゼロ）」を入力する 総括表の様式が浜松市の様式と異なる場合は、文言で判断入力する 文言で判断できない場合は問い合わせとする（データ入力連絡表に記載）
21	報告人員_在職	「特別徴収対象者」の数字を入力する。 “0”（ゼロ）の場合は、「0（ゼロ）」を入力する 総括表の様式が浜松市の様式と異なる場合は、文言で判断入力する 文言で判断できない場合は問い合わせとする（データ入力連絡表に記載）
22	報告人員_退職	「普通徴収対象者（退職者）」の数字を入力する “0”（ゼロ）の場合は、「0（ゼロ）」を入力する 総括表の様式が浜松市の様式と異なる場合は、文言で判断入力する 文言で判断できない場合は問い合わせとする（データ入力連絡表に記載）
23	報告人員_その他	「普通徴収対象者（退職者を除く）」の数字を入力する “0”（ゼロ）の場合は、「0（ゼロ）」を入力する 総括表の様式が浜松市の様式と異なる場合は、文言で判断入力する 文言で判断できない場合は問い合わせとする（データ入力連絡表に記載）
24	報告人員_合計	“0”（ゼロ）の場合は、「0（ゼロ）」を入力する 総括表の様式が浜松市の様式と異なる場合は、文言で判断入力する 文言で判断できない場合は問い合わせとする（データ入力連絡表に記載）
26	納入書要不要	必要・不要のどちらにも○がない場合は、空白を記録する 「納入書の送付」の欄がない場合は、空白を記録する 文言で判断できない場合は問い合わせとする（データ入力連絡表に記載）
	その他	総括表だけで個人別明細書が1枚もない場合は、総括表の内容1件を入力する

・データ入力指示書（個人別明細書）

項番	名称	詳細
	全般	同じように記載事項（給与収入・給与所得や控除や扶養フラグなど）にずれがある給報が多数を占める場合、最初の1枚目を訂正することにより、後の給報も同じ方法で入力する 様式が通常とは異なるものの場合、項目名を確認して入力する
9 10 11 12	資料番号	イメージデータのファイル名（20桁、拡張子を除く）を入力する
14	指定番号	直前の総括表の指定番号を入力する
15	受給者番号	桁不足は、左詰（右ブランク）で入力する 桁オーバーは、右部分をカットして入力する（データ入力連絡表に記載） 例：「1234567」 → 「123456」と入力 途中のスペースは、省略し左詰で入力する 例：「123 456」 → 「123456」と入力 “-”（ハイフン）が2回つづく場合は、“-”（ハイフン）は1つだけ入力する 例：「0068- -0001」 → 「0068-0001」と入力 “-”（ハイフン）は1バイト文字の“-”（ハイフン）とする 数字以外の文字が記入されている場合は、英字記号も入力する （“-”（マイナス）、“/”（スラッシュ）、“（）”（カッコ）・・・etc） 英字の小文字（abc）は大文字（ABC）に直して入力する 例：「123-456abc789B」 → 「123-456A789B」と入力
16	フリガナ	個人名の記入ではなくても、見たまま入力する 例：「ハマツヅムシヨ」（会社名etc…） → 「ハマツヅムシヨ」と入力 フリガナの後ろに数字の記入がある場合は、無視する
17	支払金額	項番17については、記載金額の頭にマイナスの金額を表示する“△”（サンカク）、“-”（マイナス）がある場合は、「000000000000」を入力する ※その際、項番18については、書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。 空欄および“0”（ゼロ）の場合は「000000000000」を入力する 二段書きになっている場合は上段未入力、下段を入力する ※上段>下段の場合、データ入力連絡表に記載する
18	給与所得控除後の金額	空欄および“0”（ゼロ）の場合は「000000000000」を入力する ※ただし別紙「所得控除の額の合計額」の計算の記載に従い入力して納品すること 二段書きになっている場合は上段未入力、下段を入力する ※上段>下段の場合、データ入力連絡表に記載する
19	所得控除の額の合計額	空欄および“0”（ゼロ）の場合は「000000000000」を入力する ※ただし別紙「所得控除の額の合計額」の計算の記載に従い入力して納品すること 記載金額の頭にマイナスの金額を表示する“△”（サンカク）、“-”（マイナス）がある場合は、例の通り入力する 例：「△48,900」 → 「-00000048900」
20	源泉徴収税額	記載金額の頭にマイナスの金額を表示する“△”（サンカク）、“-”（マイナス）がある場合は、例の通り入力する 例：「△48,900」 → 「-00000048900」
21 23	控配_有 控配_老人	“O”（マル）以外に、“0”（ゼロ）、“0”（オー）、“*”（アスタリスク）、“※”（コメジルシ）、“V”（チェック）、“1”（イチ）の印があった場合 「1」を入力する “-”（マイナス、横一本線）のみの記載があった場合 空白を記録する

項番	名 称	詳 細										
		<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>老</td></tr> <tr><td>有</td><td>従</td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td>○</td></tr> </table>			老	有	従		○		○	有に「1」を入力する 老人に「1」を入力する
		老										
有	従											
○		○										
		<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>老</td></tr> <tr><td>有</td><td>従</td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table>			老	有	従		○			有に「1」を入力する
		老										
有	従											
○												
		<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>老</td></tr> <tr><td>有</td><td>従</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> </table>			老	有	従				○	老人に「1」を入力する
		老										
有	従											
		○										
		<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>老</td></tr> <tr><td>有</td><td>従</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○</td><td></td></tr> </table>			老	有	従			○		判断入力する (項番21をデータ入力連絡表に記載) ただし、乙欄に記入がある場合は空白を記録する
		老										
有	従											
	○											
		<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td>老</td></tr> <tr><td>有</td><td>従</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○</td><td>○</td></tr> </table>			老	有	従			○	○	判断入力する (項番21および23をデータ入力連絡表に記載) ただし、乙欄に記入がある場合は項番21および23を空白を記録する
		老										
有	従											
	○	○										
		旧様式などで控除対象配偶者の有・無がある場合は、両方の項目に跨って○であれば有、×かブランクであれば無と判断し、入力する(下記例参照)										
		<table border="1"> <tr><td>有</td><td>無</td></tr> <tr><td>○</td><td></td></tr> </table>	有	無	○		有に「1」を入力する					
有	無											
○												
		<table border="1"> <tr><td>有</td><td>無</td><td>有</td><td>無</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr> </table>	有	無	有	無				○	空白を記録する	
有	無	有	無									
			○									
		<table border="1"> <tr><td>有</td><td>無</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td></tr> </table>	有	無	○	○	判断入力する (データ入力連絡表に記載)					
有	無											
○	○											
		<table border="1"> <tr><td>有</td><td>無</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td></tr> </table>	有	無	○	○	判断入力する (データ入力連絡表に記載)					
有	無											
○	○											
		<table border="1"> <tr><td>有</td><td>無</td></tr> <tr><td></td><td>*</td></tr> </table>	有	無		*	“*”(アスタリスク)の場合、縦線を基準に入力する 真中の場合は判断入力する (データ入力連絡表に記載)					
有	無											
	*											
24	配偶者特別控除	記載金額の頭にマイナスの金額を表示する“△”(サンカク)、“-”(マイナス)がある場合は、“000000000000”で入力する										
25	扶養_特定扶養	“0”(ゼロ)の記入がある場合は、右詰(前ゼロ)で記録する										
26	扶養_同居老人											
27	扶養_老人扶養											
28	扶養_その他扶養											
30	障害_同居特障	桁不足は、右詰(前ゼロ)で入力する										
31	障害_特別障害											
32	障害_その他障害											
33	小規模企業共済等	小規模企業共済等は社会保険料等の金額欄が二段書きになっている場合のみ入力する										
34	社会保険料控除額	一段しか記載がない場合は社会保険料控除額として入力し、小規模企業共済等は右詰(前ゼロ)で記録する										

項番	名 称	詳 細												
		二段書きになっている場合は、上段は小規模企業共済等で、下段は社会保険料控除額で入力する 記載金額の頭にマイナスの金額を表示する“△”（サンカク）、“-”（マイナス）がある場合は、「000000000000」で入力する												
35	生命保険料控除額	記載金額の頭にマイナスの金額を表示する“△”（サンカク）、“-”（マイナス）がある場合は、「000000000000」で入力する												
36	地震保険料控除額	記載金額の頭にマイナスの金額を表示する“△”（サンカク）、“-”（マイナス）がある場合は、「000000000000」で入力する												
41	16歳未満扶養親族の数	“0”（ゼロ）の記入がある場合は、右詰（前ゼロ）で記録する 桁不足は、右詰（前ゼロ）で入力する 旧様式などで“△”（サンカク）で囲んだ数字があれば16歳未満扶養人数として入力する												
43 44 45 46	未成年者 乙欄 本人特別障害 本人その他障害	“0”（マル）があった場合に「1」を入力する “0”（マル）以外に、“0”（ゼロ）、“0”（オー）、“*”（アスタリスク）、“※”（コメジルシ）、“V”（チェック）などの印があった場合は、○と置きかえて「1」を入力する												
48	一般寡婦	“0”（マル）があった場合に「1」を入力する “0”（マル）以外に、“0”（ゼロ）、“0”（オー）、“*”（アスタリスク）、“※”（コメジルシ）、“V”（チェック）などの印があった場合は、○と置きかえて「1」を入力する												
49 50	特別寡婦 寡夫	【令和2年度以前の様式の場合】 “0”（マル）があった場合に、 項番116 ひとり親を判断入力とする。（データ入力連絡表に記載） 項番49、50は空白を記録する。 【令和2年度以前の様式の場合】 “0”（マル）以外に、“0”（ゼロ）、“0”（オー）、“*”（アスタリスク）、“※”（コメジルシ）、“V”（チェック）などの印があった場合は、 項番116 ひとり親を判断入力とする。（データ入力連絡表に記載） 項番49、50は空白を記録する。												
51 52 53 54	勤労学生 死亡退職 災害者 外国人	“0”（マル）があった場合に「1」を入力する “0”（マル）以外に、“0”（ゼロ）、“0”（オー）、“*”（アスタリスク）、“※”（コメジルシ）、“V”（チェック）などの印があった場合は、○と置きかえて「1」を入力する												
55 56	中途就退_就職 中途就退_退職	<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>就</td><td>退</td></tr> <tr><td>○</td><td>○</td></tr> </table> 退職に「1」を入力する <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>就</td><td>退</td></tr> <tr><td>○</td><td>□</td></tr> </table> 就職に「1」を入力する *ただし、項番58、59があった時もしくは項番58、59、60全て記載がある場合のみ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>就</td><td>退</td></tr> <tr><td>○</td><td>□</td></tr> </table> 項番58、59がどちらしかない場合には空白を記録する	就	退	○	○	就	退	○	□	就	退	○	□
就	退													
○	○													
就	退													
○	□													
就	退													
○	□													

項番	名 称	詳 細				
		<table border="1"> <tr> <td>就退</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> 退職に「1」を入力する	就退			○
就退						
	○					
		<table border="1"> <tr> <td>就退</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> </tr> </table> 判断入力する (データ入力連絡表に記載)	就退			○
就退						
	○					
58 59 60	中途就・退職_年 中途就・退職_月 中途就・退職_日	<p>項番55、56中途就退欄に印がなく、年のみ記載がある場合は空白を記録する</p> <hr/> <p>項番55、56中途就退欄に印がなく、月日に記載があった場合は空白を記録する</p> <hr/> <p>年月日に記載がある場合、年が30、31だった場合は年号を平成「4」で入力する。また、年が元、1、01、2、02、3、03、4、04、5、05だった場合は年号を令和「5」で入力する。 ただし、平成31年5月以降の存在しない日付の場合は、年号、年を令和に置き換えて入力する。 例：3 1 5 1 → 「5010501」を入力 例：3 2 3 3 1 → 「5020331」を入力 また、令和元年4月以前の存在しない日付の場合は年号、年を平成に置き換えて入力する。 例：元 4 1 → 「4310401」を入力</p> <hr/> <p>二段書きは年月日の遅い方を入力する 例：4 5 0 7 4 8 1 4 → 「5040814」を入力</p> <hr/> <p>年の記載がない場合、月日に数字の記載があれば「04」を入力する。 例：□□1009 → 「5041009」を入力</p> <hr/> <p>項番55中途就退職_就職に印があり、年月日の記載のない場合は、空白を記録する</p> <hr/> <p>項番55中途就退欄_就職に印があり、月日の記載のない場合は、空白を記録する 例：4 □□□□ (“4”は記載) → 未入力</p> <hr/> <p>項番56中途就退職_退職に印があり、年月日の記載のない場合は、年の最終日で入力する 例：□□□□□□ → 「5041231」を入力</p> <hr/> <p>項番56中途就退欄_退職に印があり、月日の記載のない場合は、年の最終日で入力する 例：4 □□□□ (“4”は記載) → 「5041231」を入力</p> <hr/> <p>項番55、56中途就退欄に印があり、日の記載のない場合は、月の最終日で入力する 例：4 1 0 □□ → 「5041031」を入力</p> <hr/> <p>年が消されていて、訂正が入っている場合は、訂正後の数字を入力する (昨年用の紙で“3”を訂正して“4”が手書き) 例：3 □□□□ → 「5041231」で入力 4</p> <hr/> <p>ありえない年月日の場合でも、そのまま入力する 例：8 8 1 3 3 2 → 「5881332」で入力</p>				
61	生年月日_年号	<p>元号欄に明・大・昭・平・令の記入がある場合は、それぞれ明治、大正、昭和、平成、令和と読み替え入力する</p> <hr/> <p>元号欄にアルファベットM・T・S・H・Rの記入がある場合は、それぞれ明治、大正、昭和、平成、令和と読み替え入力する</p> <hr/> <p>【令和2年度以前の様式の場合】 明大昭平欄に“〇”(マル)ではなく“昭和”等の文字の記載がある場合も入力する 例：平 0 2 0 5 1 2 → 年号は平成「4」を入力</p>				

項番	名称	詳細																	
72	租税条約区分	(摘要) 租税条約該当	租税条約である旨の記載がある 72 租税条約区分 → 「1」																
		(摘要) 日中租税協定第21条	租税条約である旨の記載がある 72 租税条約区分 → 「1」																
<p>項番74~85の住宅ローン控除関連は別紙「住宅控除関連入力条件書」の記載に従うこと</p>																			
<p>平成31年5月以降の存在しない日付の場合は、年号、年を令和に置き換えて入力する。 例：3 1 5 1 → 「010501」を入力 例：3 2 3 3 1 → 「020331」を入力 また、令和元年4月以前の存在しない日付の場合は年号、年を平成に置き換えて入力する。 例：1 4 1 → 「310401」を入力</p>																			
<table border="1"> <tr> <td>住宅借入金等 特別控除適用数</td> <td>1</td> <td>居住開始年月日 (1回目)</td> <td>18</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>住宅借入金等特別 控除区分(1回目)</td> <td>住</td> </tr> <tr> <td>住宅借入金等 特別控除可能額</td> <td>225,000</td> <td>居住開始年月日 (2回目)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>住宅借入金等特別 控除区分(2回目)</td> <td></td> </tr> </table>				住宅借入金等 特別控除適用数	1	居住開始年月日 (1回目)	18	5	12	住宅借入金等特別 控除区分(1回目)	住	住宅借入金等 特別控除可能額	225,000	居住開始年月日 (2回目)				住宅借入金等特別 控除区分(2回目)	
住宅借入金等 特別控除適用数	1	居住開始年月日 (1回目)	18	5	12	住宅借入金等特別 控除区分(1回目)	住												
住宅借入金等 特別控除可能額	225,000	居住開始年月日 (2回目)				住宅借入金等特別 控除区分(2回目)													
74	居住開始年1	74~76 居住開始年月日1→「180512」																	
75	居住開始月1	77 適用数→「1」																	
76	居住開始日1	78 可能額→「000000225000」																	
77	適用数	79 特控区分1→「01」																	
78	可能額																		
79	特控区分1																		
81	居住開始年2																		
82	居住開始月2																		
83	居住開始日2																		
84	特控区分2																		
<table border="1"> <tr> <td>住宅借入金等 特別控除適用数</td> <td>2</td> <td>居住開始年月日 (1回目)</td> <td>18</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>住宅借入金等特別 控除区分(1回目)</td> <td>住</td> </tr> <tr> <td>住宅借入金等 特別控除可能額</td> <td>225,000</td> <td>居住開始年月日 (2回目)</td> <td>26</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>住宅借入金等特別 控除区分(2回目)</td> <td>住(特)</td> </tr> </table> <p>74~76 居住開始年月日1→「180512」 77 適用数→「2」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「01」 81~83 居住開始年月日2→「260512」 84 特控区分2→「11」</p>				住宅借入金等 特別控除適用数	2	居住開始年月日 (1回目)	18	5	12	住宅借入金等特別 控除区分(1回目)	住	住宅借入金等 特別控除可能額	225,000	居住開始年月日 (2回目)	26	5	12	住宅借入金等特別 控除区分(2回目)	住(特)
住宅借入金等 特別控除適用数	2	居住開始年月日 (1回目)	18	5	12	住宅借入金等特別 控除区分(1回目)	住												
住宅借入金等 特別控除可能額	225,000	居住開始年月日 (2回目)	26	5	12	住宅借入金等特別 控除区分(2回目)	住(特)												

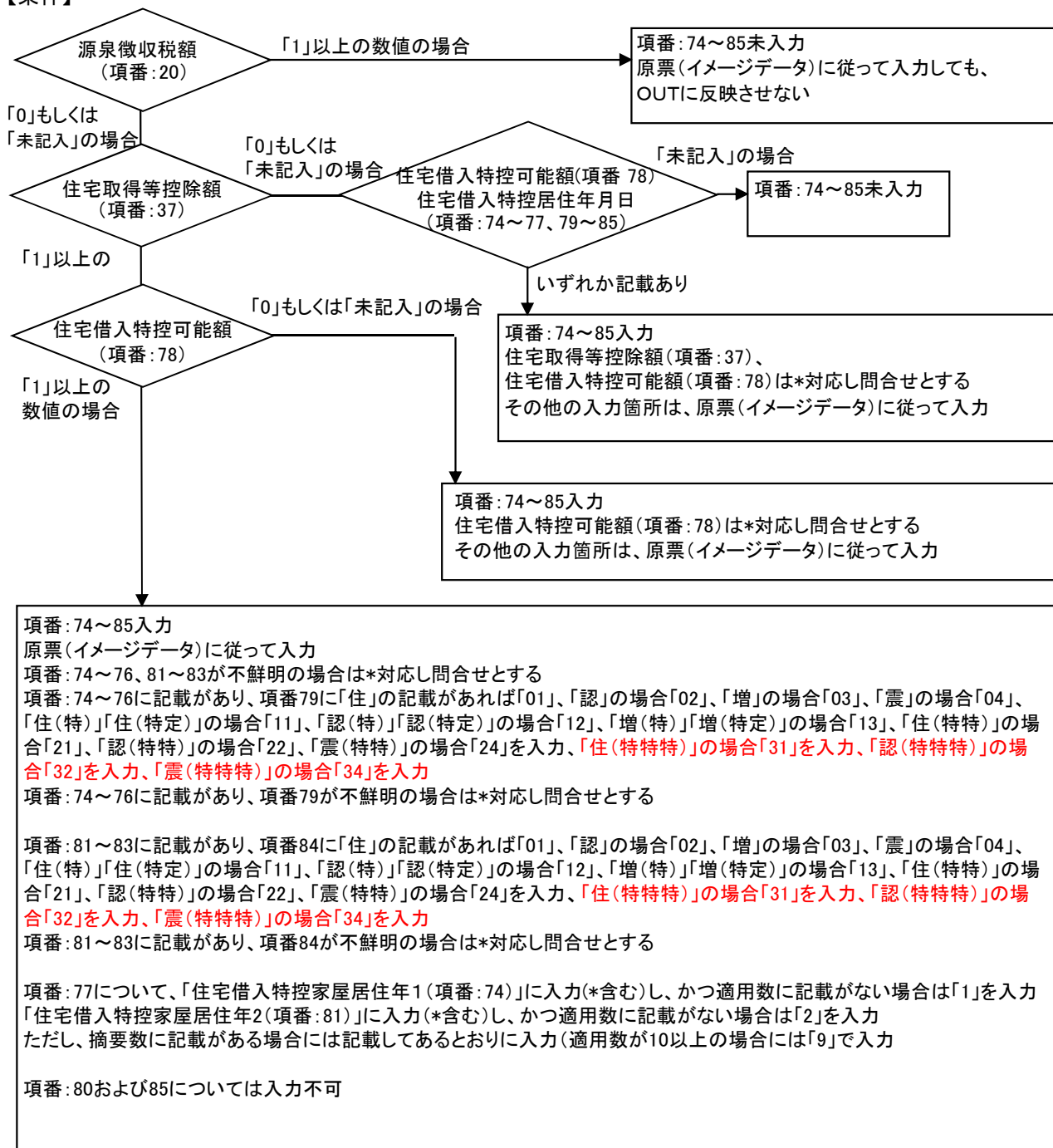
項番	名 称	詳 細																
		<table border="1"> <tr> <td>住宅借入金等特別控除適用数</td> <td>3</td> <td>居住開始年月日(1回目)</td> <td>24</td> <td>12</td> <td>26</td> <td>住宅借入金等特別控除区分(1回目)</td> <td>住</td> </tr> <tr> <td>住宅借入金等特別控除可能額</td> <td>225,000</td> <td>居住開始年月日(2回目)</td> <td>1</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>住宅借入金等特別控除区分(2回目)</td> <td>認(特特)</td> </tr> </table> <p>74~76 居住開始年月日1→「241226」 77 適用数→「3」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「01」 81~83 居住開始年月日2→「011001」 84 特控区分2→「22」</p>	住宅借入金等特別控除適用数	3	居住開始年月日(1回目)	24	12	26	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住	住宅借入金等特別控除可能額	225,000	居住開始年月日(2回目)	1	10	1	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	認(特特)
住宅借入金等特別控除適用数	3	居住開始年月日(1回目)	24	12	26	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住											
住宅借入金等特別控除可能額	225,000	居住開始年月日(2回目)	1	10	1	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	認(特特)											
		<p>旧様式などで摘要欄に記載がある場合も、入力する（下記例参照）</p> <table border="1"> <tr> <td> (摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H18.5.12 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日の記載がある場合 </td> <td> 74~76 居住開始年月日1→「180512」 77 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「01」 </td> </tr> <tr> <td> (摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H25.5.12 借入金等年末残高 増 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、借入金等年末残高の後ろに「増」の記載がある場合 </td> <td> 74~76 居住開始年月日1→「250512」 77 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「03」 </td> </tr> <tr> <td> (摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H25.5.12 借入金等年末残高 震 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、借入金等年末残高の後ろに「震」の記載がある場合 </td> <td> 74~76 居住開始年月日1→「250512」 77 適用数→「1」 76 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「04」 </td> </tr> <tr> <td> (摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H26.5.12 (特定) 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、居住開始年月日の後ろに「(特定)」の記載がある場合 </td> <td> 74~76 居住開始年月日1→「260512」 75 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「11」 </td> </tr> <tr> <td> (摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H26.5.12 (特定) 借入金等年末残高 増 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、居住開始年月日の後ろに「(特定)」の記載があり、なおかつ借入金等年末残高の後ろに「増」の記載がある場合 </td> <td> 74~76 居住開始年月日1→「260512」 77 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「13」 </td> </tr> <tr> <td> (摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H18.5.12 借入金残高 住10,500,000 居住開始年月日 H26.5.12 (特定) 借入金残高 住10,000,000 住宅借入金等特別控除可能額と、居住開始年月日が2箇所ある場合 </td> <td> 74~76 居住開始年月日1→「180512」 77 適用数→「2」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「01」 81~83 居住開始年月日2→「260512」 84 特控区分2→「11」 </td> </tr> </table>	(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H18.5.12 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日の記載がある場合	74~76 居住開始年月日1→「180512」 77 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「01」	(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H25.5.12 借入金等年末残高 増 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、借入金等年末残高の後ろに「増」の記載がある場合	74~76 居住開始年月日1→「250512」 77 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「03」	(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H25.5.12 借入金等年末残高 震 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、借入金等年末残高の後ろに「震」の記載がある場合	74~76 居住開始年月日1→「250512」 77 適用数→「1」 76 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「04」	(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H26.5.12 (特定) 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、居住開始年月日の後ろに「(特定)」の記載がある場合	74~76 居住開始年月日1→「260512」 75 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「11」	(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H26.5.12 (特定) 借入金等年末残高 増 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、居住開始年月日の後ろに「(特定)」の記載があり、なおかつ借入金等年末残高の後ろに「増」の記載がある場合	74~76 居住開始年月日1→「260512」 77 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「13」	(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H18.5.12 借入金残高 住10,500,000 居住開始年月日 H26.5.12 (特定) 借入金残高 住10,000,000 住宅借入金等特別控除可能額と、居住開始年月日が2箇所ある場合	74~76 居住開始年月日1→「180512」 77 適用数→「2」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「01」 81~83 居住開始年月日2→「260512」 84 特控区分2→「11」				
(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H18.5.12 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日の記載がある場合	74~76 居住開始年月日1→「180512」 77 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「01」																	
(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H25.5.12 借入金等年末残高 増 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、借入金等年末残高の後ろに「増」の記載がある場合	74~76 居住開始年月日1→「250512」 77 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「03」																	
(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H25.5.12 借入金等年末残高 震 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、借入金等年末残高の後ろに「震」の記載がある場合	74~76 居住開始年月日1→「250512」 77 適用数→「1」 76 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「04」																	
(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H26.5.12 (特定) 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、居住開始年月日の後ろに「(特定)」の記載がある場合	74~76 居住開始年月日1→「260512」 75 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「11」																	
(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H26.5.12 (特定) 借入金等年末残高 増 住宅借入金等特別控除可能額と居住開始年月日、居住開始年月日の後ろに「(特定)」の記載があり、なおかつ借入金等年末残高の後ろに「増」の記載がある場合	74~76 居住開始年月日1→「260512」 77 適用数→「1」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「13」																	
(摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H18.5.12 借入金残高 住10,500,000 居住開始年月日 H26.5.12 (特定) 借入金残高 住10,000,000 住宅借入金等特別控除可能額と、居住開始年月日が2箇所ある場合	74~76 居住開始年月日1→「180512」 77 適用数→「2」 78 可能額→「000000225000」 79 特控区分1→「01」 81~83 居住開始年月日2→「260512」 84 特控区分2→「11」																	

項番	名称	詳細		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H18.5.12 借入金残高 住 10,500,000 居住開始年月日 H25.5.12 借入金残高 増 10,000,000 </div> <p>住宅借入金等特別控除可能額と、居住開始年月日が2箇所ある場合</p>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (摘要)住宅借入金等特別控除可能額 225,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H18.5.12 借入金残高 住10,500,000 居住開始年月日 H26.5.12 (特定)借入金残高 増10,000,000 </div> <p>住宅借入金等特別控除可能額と、居住開始年月日が2箇所ある場合</p>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (摘要)住宅借入金等特別控除可能額 360,000円 太郎 花子 居住開始年月日 H19.3.4 住 借入金残高10,500,000 居住開始年月日 H22.5.12 住 借入金残高12,000,000 居住開始年月日 H25.7.13 震 借入金残高13,500,000 </div> <p>居住開始年月日が3箇所ある場合</p>		
86 87 88 89	新生命保険料 旧生命保険料 介護医療保険料 新個人年金保険料	<p>旧様式などで摘要欄に項目名(略称)の記載があり、赤丸で囲われている場合も入力する(下記参照) なお、新生命、旧生命等の項目名および並び順は提出元によって異なるため、必ず確認し判断入力する</p>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (適要) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 5px;"> 新生命: 50,000 旧生命: 10,000 介護医: 60,000 新個人: 10,000 </td> <td style="padding-left: 10px;">赤丸で囲まれている</td> </tr> </table> </div> <p>86 新生命保険料→「000000050000」 87 旧生命保険料→「000000010000」 88 介護医療保険→「000000060000」 89 新個人保険料→「000000010000」</p>	新生命: 50,000 旧生命: 10,000 介護医: 60,000 新個人: 10,000	赤丸で囲まれている
新生命: 50,000 旧生命: 10,000 介護医: 60,000 新個人: 10,000	赤丸で囲まれている			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (適要) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 新生命: 50,000 旧生命: 介護医: 新個人: 10,000 </td> <td style="padding-left: 10px;">項目名が赤丸で囲まれているが金額が空欄</td> </tr> </table> </div> <p>86 新生命保険料→「000000050000」 87 旧生命保険料→ 空白を記録する 88 介護医療保険→ 空白を記録する 89 新個人保険料→「000000010000」</p>	新生命: 50,000 旧生命: 介護医: 新個人: 10,000	項目名が赤丸で囲まれているが金額が空欄
新生命: 50,000 旧生命: 介護医: 新個人: 10,000	項目名が赤丸で囲まれているが金額が空欄			
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> (適要) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 新生命: 50,000 旧生命: 10,000 介護医: 60,000 新個人: 10,000 </td> <td style="padding-left: 10px;">一部の項目のみ赤丸で囲まれている</td> </tr> </table> </div> <p>86 新生命保険料→「000000050000」 87 旧生命保険料→ 空白を記録する 88 介護医療保険→ 空白を記録する 89 新個人保険料→ 空白を記録する</p>	新生命: 50,000 旧生命: 10,000 介護医: 60,000 新個人: 10,000	一部の項目のみ赤丸で囲まれている
新生命: 50,000 旧生命: 10,000 介護医: 60,000 新個人: 10,000	一部の項目のみ赤丸で囲まれている			
91	摘要	<p>項番41 16歳未満扶養親族の数 項番74 居住開始年1 項番75 居住開始月1 項番76 居住開始日1 項番77 適用数 項番78 可能額 項番79 特控区分1 項番81 居住開始年2 項番82 居住開始月2 項番83 居住開始日2 項番84 特控区分2 項番86 新生命保険料 項番87 旧生命保険料 項番88 介護医療保険料 項番89 新個人年金保険料</p> <p>空白を記録する。 ただし、左記に関する記載が、摘要欄と各項目欄の両方にある場合、摘要欄の内容は無視する(データ入力連絡表に記載)</p>		

項番	名 称	詳 細		
110 111	扶養5以降_個人番号 年少扶養5以降_個人番号	空白を記録する（データ入力連絡表記載）		
112	同配適用区分	摘要欄以外のところに記入がある場合	空白を記録する（データ入力連絡表記載）	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(摘要) 浜松 花子(同配)</div>	氏名の記載があり、同一生計配偶者である旨の記載がある ※氏名との順序は問わない	112 同配適用区分 → 「1」
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(摘要) 浜松 花子(同一生計配偶者)</div>	氏名の記載があり、同一生計配偶者である旨の記載がある	112 同配適用区分 → 「1」
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(摘要) (同配)</div>	同一生計配偶者である旨の記載がある	112 同配適用区分 → 「1」
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(摘要) (同一生計配偶者)</div>	同一生計配偶者である旨の記載がある	112 同配適用区分 → 「1」
114	基礎控除額	書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。		
		空欄の場合は空白を記録する		
115	所得金額調整控除額	書面による場合の記載に準じて右詰（前ゼロ）で記録する。		
		空欄の場合は空白を記録する		
116	ひとり親	“〇”（マル）があった場合に「1」を入力する		
		“〇”（マル）以外に、“0”（ゼロ）、“0”（オー）、“*”（アスタリスク）、“※”（コメジルシ）、“V”（チェック）などの印があった場合は、〇と置きかえて「1」を入力する		

住宅控除関連入力条件書

【条件】



項番20(源泉徴収税額)が「0」もしくは「未入力」で項番37(住宅取得等控除額)が「1」以上数値があり、かつ項番78(住宅借入特控可能額)に記載があることが条件 以下例示

住宅借入金等特別控除適用数	8	居住開始年月日(1回目)	24	12	26	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住
住宅借入金等特別控除可能額	225,000	居住開始年月日(2回目)	26	5	12	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	住(特)

74~76 居住開始年月日1→「241226」
77 適用数→「8」
78 可能額→「000000225000」
81~83 居住開始年月日2→「260512」
84 特控区分2→「11」

住宅借入金等特別控除適用数	13	居住開始年月日(1回目)	24	12	26	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住
住宅借入金等特別控除可能額	225,000	居住開始年月日(2回目)	26	5	12	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	認(特)

74~76 居住開始年月日1→「241226」
77 適用数→「9」*適用数が10以上の場合
78 可能額→「000000225000」
81~83 居住開始年月日2→「260512」
84 特控区分2→「12」

住宅借入金等特別控除適用数	1	居住開始年月日(1回目)	18	5	12	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住
住宅借入金等特別控除可能額	225,000	居住開始年月日(2回目)	26	5	12	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	増(特)

項番74~85については原票(イメージデータ)に従って入力
74~76 居住開始年月日1→「180512」
77 適用数→「1」
78 可能額→「000000225000」
79 特控区分1→「01」
81~83 居住開始年月日2→「260512」
84 特控区分2→「13」

住宅借入金等特別控除適用数	2	居住開始年月日(1回目)	18	5	12	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住
住宅借入金等特別控除可能額	225,000	居住開始年月日(2回目)				住宅借入金等特別控除区分(2回目)	

項番74~85については原票(イメージデータ)に従って入力
74~76 居住開始年月日1→「180512」
77 適用数→「2」
78 可能額→「000000225000」
79 特控区分1→「01」

住宅借入金等特別控除適用数	1	居住開始年月日(1回目)				住宅借入金等特別控除区分(1回目)	
住宅借入金等特別控除可能額	225,000	居住開始年月日(2回目)	26	5	12	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	住(特)

項番74~85については原票(イメージデータ)に従って入力
77 適用数→「1」
78 可能額→「000000225000」
81~83 居住開始年月日2→「260512」
84 特控区分2→「11」

住宅借入金等 特別控除適用数	8	居住開始年月日 (1回目)				住宅借入金等特別 控除区分(1回目)	
住宅借入金等 特別控除可能額	225,000	居住開始年月日 (2回目)				住宅借入金等特別 控除区分(2回目)	

項番74～85については原票(イメージデータ)に従って入力

77 適用数→「8」

78 可能額→「000000225000」

住宅借入金等 特別控除適用数		居住開始年月日 (1回目)				住宅借入金等特別 控除区分(1回目)	
住宅借入金等 特別控除可能額	225,000	居住開始年月日 (2回目)	26	5	12	住宅借入金等特別 控除区分(2回目)	住(特)

項番74～85については原票(イメージデータ)に従って入力

77 適用数→「2」を設定

78 可能額→「000000225000」

81～83 居住開始年月日2→「260512」

84 特控区分2→「11」

住宅借入金等 特別控除適用数		居住開始年月日 (1回目)	26	5	12	住宅借入金等特別 控除区分(1回目)	住(特)
住宅借入金等 特別控除可能額	225,000	居住開始年月日 (2回目)				住宅借入金等特別 控除区分(2回目)	

項番74～85については原票(イメージデータ)に従って入力

74～76 居住開始年月日1→「260512」

77 適用数→「1」を設定

78 可能額→「000000225000」

79 特控区分1→「11」

給与所得控除後の金額

	給与支払金額 A	給与所得控除後の金額 = 給与所得 の計算式		
		中間値 B 計算式	給与所得計算式	端数処理
1	0 ~ 550,999		0	固定値
2	551,000 ~ 1,618,999		$A - 550,000$	1円単位端数可
3	1,619,000 ~ 1,619,999		1,069,000	固定値
4	1,620,000 ~ 1,621,999		1,070,000	固定値
5	1,622,000 ~ 1,623,999		1,072,000	固定値
6	1,624,000 ~ 1,627,999		1,074,000	固定値
7	1,628,000 ~ 1,799,999	B = A ÷ 4 (千円未満の端数切捨て)	$B \times 2.4 + 100,000$	
8	1,800,000 ~ 3,599,999		$B \times 2.8 - 80,000$	
9	3,600,000 ~ 6,599,999		$B \times 3.2 - 440,000$	
10	6,600,000 ~ 8,499,999		$A \times 0.90 - 1,100,000$	小数点以下切捨て
11	8,500,000 ~		$A - 1,950,000$	1円単位端数可

給与支払金額の数値の段階により、「給与所得控除後の金額」を求める計算式が異なる。

上記のように、11段階になっている。

給与支払金額を「**A**」として、給与支払金額の数値に該当の段階の計算式を用いて、「給与所得控除後の金額」を求める。

ちなみに、給与支払金額<0の場合には、給与支払金額=0とする。

また、給与支払金額に小数点以下の数値は存在しない。(貨幣として「銭」単位以下の単位で支払われる給与は無い。)

- ※1
- ・ 項番 17 給与収入が 1,095 万以下の場合、 $\text{フガ}^{\circ} \times 380,000$ として計算する
 - ・ 項番 17 給与収入が 1,095 万超～1,145 万以下の場合、 $\text{フガ}^{\circ} \times 260,000$ として計算する
 - ・ 項番 17 給与収入が 1,145 万超～1,195 万以下の場合、 $\text{フガ}^{\circ} \times 130,000$ として計算する
 - ・ 項番 17 給与収入が 1,195 万超の場合、 $\text{フガ}^{\circ} \times 0$ として計算する
 - ・ 項番 24 配偶者特別控除の値が存在（0 は除く）する場合は、 $\text{フガ}^{\circ} \times 0$ として計算する
- ※2
- ・ 項番 17 給与収入が 1,095 万以下の場合、 $\text{フガ}^{\circ} \times 100,000$ として計算する
 - ・ 項番 17 給与収入が 1,095 万超～1,145 万以下の場合、 $\text{フガ}^{\circ} \times 60,000$ として計算する
 - ・ 項番 17 給与収入が 1,145 万超～1,195 万以下の場合、 $\text{フガ}^{\circ} \times 30,000$ として計算する
 - ・ 項番 17 給与収入が 1,195 万超の場合、 $\text{フガ}^{\circ} \times 0$ として計算する
 - ・ 項番 24 配偶者特別控除の値が存在（0 は除く）する場合は、 $\text{フガ}^{\circ} \times 0$ として計算する

所得控除の額の合計額 = 基礎控除 ※3 + 上記各項目別に計算した数値の合計

- ※3
- ・ 項番 17 給与収入が 2,595 万以下の場合、 480,000 として計算する
 - ・ 項番 17 給与収入が 2,595 万超～2,645 万以下の場合、 320,000 として計算する
 - ・ 項番 17 給与収入が 2,645 万超～2,695 万以下の場合、 160,000 として計算する
 - ・ 項番 17 給与収入が 2,695 万超の場合、 0 として計算する

A B O P Q R S 欄には、○ * レ 等の「しるし」が記載される。
「しるし」あれば、フガ[○]有とする。「しるし」がなければ、フガ[○]無とする。

C K K' L M 欄には、「金額」が記載される。
金額の記載が無ければ、金額=0とする。

D E F G H I J N 欄には、「人数（数字）」が記載される。
人数の記載が無ければ、人数=0とする。